

 NPO
TRITON
ARTS
NETWORK

トリトン アーツ ネットワーク

事業報告書
評価事業報告書

2016



認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク

ごあいさつ

トリトン・アーツ・ネットワーク / 第一生命ホールは、お陰様で2016年11月に15周年を迎えました。ここまで順調に活動を継続できたのも、ひとえに皆さま方の一方ならぬご支援、ご協力の賜物と心より御礼申し上げます。

2016年度15周年の事業活動の報告ならびに評価委員会の報告がまとまりましたので、ご覧いただきたく存じます。

15周年の活動内容につきましては、後掲の田中エグゼクティブ・プロデューサーの総括に譲りますが、15周年の節目にトリトンアーツらしい活動ならびに個人会員の増強等、一層の基盤強化が図られた年度ではなかったかと考えております。また大変うれしかったことは、東京都より第1回「共助社会における社会貢献大賞」特別賞をいただいたことです。創設以来のサポーター活動の取組および社会貢献活動の実績が高く評価されたことにより、私どもにとって大きな意義のある受賞であり、また今後の大きな励みとなりました。

ホール近隣では2020年東京オリンピック・パラリンピックの選手村の建設が急ピッチで進んでいます。周辺環境が大きく変化する中で、ビジョンである「音楽でつながり、音楽とともに生きる社会の実現」を目指して、晴海から発信してまいりますので、皆さまの引続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

2017年7月

認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク
理事長 長浜力雄

認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク

認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク(トリトンアーツ)は、2001年東京都より認証を受けたNPO法人です。

東京都中央区にある晴海トリトンスクエアの第一生命ホールを拠点とし、2つの柱「第一生命ホールでの公演事業」と「ホール周辺地域を中心としたコミュニティ事業」を軸に活動しています。私たちの活動は、正会員、特別会員(法人会員)、寄付者、協賛企業、助成団体、サポーター(ボランティア)の皆さまからの支援によって支えられています。お蔭さまで、その運営組織および事業活動が適正であって公益の増進に資する基準に適合したものとして東京都より、2014年11月認定NPO法人に認定されました。

ビジョン (あるべき姿)

音楽でつながり、音楽とともに生きる社会の実現

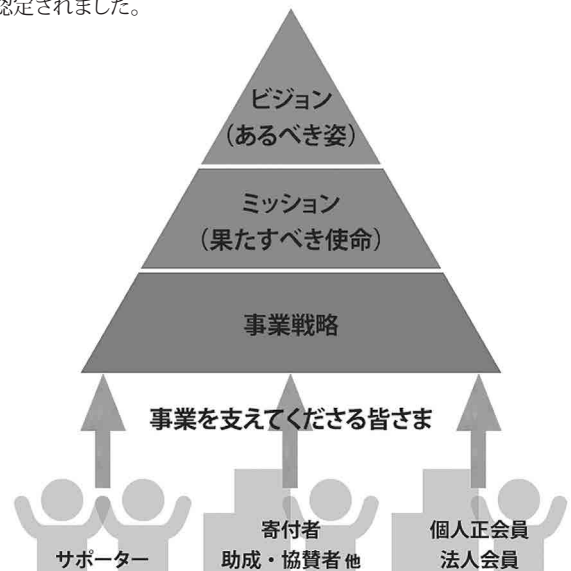
ミッション (果たすべき使命)

音楽によるコミュニティの活性化
—— 音楽の楽しさを分かち合い、心を豊かにする

広める：音楽をあらゆる年代、あらゆる層の人に広める

創る：創意工夫した音楽プログラムを創り提供する

育てる：若手演奏家、アートマネジメント人材、文化ボランティア人材を育てる



トリトンアーツの主な事業

I. 第一生命ホールでの公演事業 — ホール事業 (P.9～24 参照)

トリトンアーツが拠点とする第一生命ホールでのホール公演を年間約30回行っています。大きく3つのシリーズで構成されています。

- ライフサイクルコンサート
- クアルテット・ウィークエンド (SQW)
- ウィークエンドコンサート

II. ホール周辺地域を中心としたコミュニティ活動 — コミュニティ事業 (P.25～42 参照)

ホール周辺の地域の皆さまへ音楽をお届けする活動を年間約40回実施しています。常に地域のニーズに耳を傾け、サポーターの協力を得て幅広く柔軟に取り組んでいます。

- アウトリーチ
- 第一生命ホールオープンハウス
- ロビーコンサート
- レクチャー
- その他コミュニティ活動

III. 人材の育成事業 (P.43～45 参照)

IV. 評価事業 (2016年度評価事業報告書 (P.59～75) 参照)

アートマネジメント分野、NPO研究等の専門家によるトリトンアーツ評価委員会が、ミッションの実現に向け、事業の評価を客観的に分析・点検しています。



トリトンアーツ 15周年トピックス

「室内楽の魅力 モーツァルト 第1回～ 15周年記念ガラ・コンサート」を開催

15周年を祝い、第一生命ホールでの主催公演や、トリトンアーツの様々な活動にご出演、ご協力いただいた豪華な演奏家が一堂に会し、華やかなガラ・コンサートを開催しました。

演奏プログラムは、第一生命に縁のある^(※)モーツァルト作品の中から、第一生命ホールの音響にふさわしい室内楽を選曲。ソナタ、二重奏、三重奏、五重奏、合唱まで、幅広い形態の演奏をお楽しみいただきました。(詳細はP.20 参照)

(※) 第一生命は、ザルツブルクにあるモーツァルト住家復興を支援しました。



©大窪道治



©大窪道治



©大窪道治



©大窪道治



©大窪道治



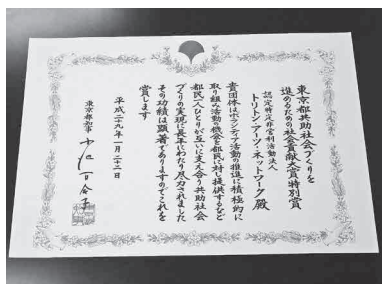
2016年11月20日「室内楽の魅力 モーツァルト 第1回～15周年記念ガラ・コンサート」出演者によるメッセージ

第1回「東京都共助社会づくりを進めるための社会貢献大賞」“特別賞”をいただきました!!

本賞は、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて、ボランティア文化の定着を図り、共助社会づくりを進めるために、ボランティア活動の継続的、先進的取組を行っている企業・団体を表彰するもので、今回が第1回となります。

大賞は、企業、教育機関、その他の民間団体の3分野より合計4団体が、特別賞は、企業、その他民間団体の2分野より合計3団体が受賞し、トリトンアーツは、創設時よりサポーター（ボランティア）を組織化して立ち上げ、サポーターは個人の能力・経験・ネットワークを活かして、事業の運営サポート等をスタッフと共に実施している取組みが評価されました。

2018年1月22日には、贈呈式が行われ、小池都知事より賞状と盾が授与されました。



また、2月23日には、生活に密着した都政の話題をお伝えする番組「東京サイト」（テレビ朝日／関東地区のみ放送）にて、活動が紹介されました。



も く じ

ごあいさつ	1
認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク	2
トリトンアーツ 15周年トピックス	3
もくじ	5

事業報告書

1. 2016年度の事業の成果

1-1. 全体の総括	7
1-2. ホール事業	9
2016年度ホール事業一覧	
(1) ライフサイクルコンサート	
(2) クアルテット・ウィークエンド (SQW)	
(3) ウィークエンド・コンサート	
(4) トリトンアーツ共催公演	
1-3. コミュニティ事業	25
2016年度コミュニティ事業一覧	
(1) アウトリーチ	
(2) 第一生命ホールオープンハウス	
(3) ロビーコンサート	
(4) レクチャー	
(5) その他コミュニティ活動	
1-4. 人材の育成事業	43
(1) サポーター	
(2) インターンシップの受入れ	
(3) アートマネージメントに関する外部講師派遣等	
(4) 若手演奏家支援	

2. 広報活動

2-1. 新聞・雑誌	47
2-2. トリトンアーツからの情報発信	48

3. 組織運営・財政決算

3-1. 役員・職員・評価委員・特別会員・寄付者・ 正会員	51
3-2. 総会・理事会・運営会議・企画分科会	54
3-3. 財政決算	55

評価事業報告書

はじめに	59
第Ⅰ部 トリトンアーツの事業へ評価について	60
第Ⅱ部 2016年度評価活動	62
第Ⅲ部 資料編	70

[文中敬称略]

事業報告書

2016

認定NPO法人
トリトン・アーツ・ネットワーク

2016年度の事業の成果

- 1-1. 全体の総括
- 1-2. ホール事業
- 1-3. コミュニティ事業
- 1-4. 人材の育成事業

1

1-1. 全体の総括

2016年度の実業の成果

2016年度は、第一生命ホールオープン、認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク創設15周年でした。前年度からスタッフ全員で活動の意味をあらためて考え、ビジョンを、「音楽でつながり、音楽とともに生きる社会の実現」と定め、ミッション「音楽によるコミュニティの活性化」と「音楽の楽しさを分かち合い、心を豊かにする」ことを目指して活動してまいりました。

このビジョン、ミッションにつながる15周年のテーマとして「音楽とともに育つ」を掲げました。2016年度は、このテーマにそって、トリトンアーツの活動の2つの柱であるホール事業（第一生命ホールの主催公演）「コミュニティ事業（ホール周辺に音楽を届ける活動）」を行いました。

ホール事業（コミュニティ事業との連携含む） P.9～P.24

ホール事業は、30公演（主催23公演、共催7公演）を実施しました。

15周年のハイライトは、ホールの誕生月にあたる11月に行った「室内楽の魅力～モーツァルト」第1回「15周年記念ガラ・コンサート」。これまでにホール事業やコミュニティ事業でごいっしょしてきた演奏家の皆さまに、ここでしか聴けない組み合わせで、第一生命ホールの音響にぴったりのモーツァルトの室内楽を演奏していただき、また、これまでの活動の思い出なども、舞台上で語っていただきました。

ここ数年、中高生へのアプローチは課題のひとつでしたが、続く「室内楽の魅力～モーツァルト」第2回「バボラークホルンの室内楽」は、ヤング券販売数が87枚と、ホルンを持った学生でにぎわい、「音楽とともに育つ」中高生に良い演奏を聴いてもらう機会となりました。

15周年に向けて2015年に結成、2年目を迎えた第一生命ホールを拠点とする「トリトン晴れた海のオーケストラ」は、第一生命ホールでの公演以外に東京オペラシティでの「ベートーヴェン：ピアノ協奏曲全曲演奏会」にも出演し、音楽雑誌各誌で絶賛されました。ホールでのリハーサルを、中央区民カレッジのレクチャーの一環として公開し、区民の方に音楽づくりを見学していただき、また晴海トリトンスクエアのグランドロビー・コンサートに出演するなど、「音楽の街晴海」の実現に向けて、地域に愛されるオーケストラになるべく活動しています。

人生のステップに寄り添った「ライフサイクルコンサート」の中では、「音楽とともに育つ」という意味で、特に若手演奏家支援として、東京藝術大学在学中の将来有望なヴァイ

オリニストである岡本誠司が、平日昼の「雄大といく 昼の音楽さんぽ」と、同日夜の仕事帰りのオフィスワーカー向け「630コンサート」に出演、それぞれ異なる聴衆を魅了しました。

増え続ける中央区の人口の中でも、年少人口が多いことは地域の特徴です。まさに晴海で「音楽とともに育つ」子どもたちには、子どもといっしょにクラシックシリーズとして、1歳から3歳児向けには「ロビーでよちよちコンサート」を、4歳以上には年3回のホール公演を実施しています。中でも、第1部は親子が分かれて音楽体験をするという点でユニークな「子育て支援コンサート」は、2016年度、とりわけ思い入れの深い企画となりました。15年間若手演奏家育成のセミナーをプロデュースしてきたヴァイオリニストの松原勝也が、セミナーを修了した演奏家たちと12名の弦楽アンサンブルで出演したのです。このセミナー修了生たちは、これまでも幼稚園や小学校でのアウトリーチ、ロビーでよちよちコンサート、オープンハウスなど、様々な場面で私たちと活動を共にしてきたのですが、この公演でも、第1部の4歳から6歳の子どもたちが体験する「音楽スタジオ」で、それぞれがすばらしいプログラムを考えて実施してくれました。まさに15年間の私たちの活動を象徴するような公演になったように思います。



子育て支援コンサート【第2部】音楽と絵本 ©大窪道治



子育て支援コンサート【第1部】子どものための音楽スタジオ ©大窪道治

15年続くホール公演の看板企画「クアルテット・ウィークエンド」では、若手のウェールズ弦楽四重奏団の3年シリーズがスタート。またブーレーズ作品に取り組んだディオティマ弦楽四重奏団の公演はNHKに収録されるなど、注目を集めました。

コミュニティ事業 P.25～P.42

もう一つの柱「コミュニティ事業」は、43事業を行いました。

小学校アウトリーチは、その中でも晴海で育つ子どもたちが「音楽とともに豊かに育つ」ことを目標としている私たちにとって力を入れている活動のひとつです。中央区の小学校のアウトリーチは、2016年度から、中央区教育委員会の「特色ある教育活動」予算で実施できることになり、区内16校中13校で実施することができました。内容の詳細はそれぞれの報告をご覧くださいなのですが、ぜひ子どもたちの感想を載せている「参加者の声」をお読みいただければと思います。素晴らしい感性で受け止めてくれる言葉の一つ一つが、演奏家と私たちの宝物です。目の前で聴いてもらう音楽が子どもたちのこれからの未来を少しだけ変えたかもしれない瞬間に立ち会うことは、演奏家や私たちに、この活動を信念を持って続けていく勇気を与えてくれるのです。音楽教諭へのアンケートの抜粋も載せていますが、ある先生は「生演奏は子どもにとっても非常に感動が多く、流行の音楽で子どもをひきつけるのではなく、響きの良さ、聴き方を学びながらクラシック音楽を味わうことができると感じています。学校教育の中に置ける意義は大きいと思います」と書いてくださっています。アウトリーチの成果は、この言葉に集約されていると思うのです。こうした先生方のご理解ご協力あってこそ、充実したアウトリーチの実施、継続が可能になっていると、改めて感謝の気持ちでいっぱいです。



4年生はじめてのクラシック（アウトリーチセミナー2016） ©藤本史昭

介護施設や病院でのアウトリーチでも、その回ごとに心動かされる出逢いがありました。第一生命のマッチングギフトで行った品川児童館、今回初めてとなった中央区福祉センターで、障害のあるお子さんに音楽をお届けして喜んでいただけただけことも、ビジョンを信じて前に進む力となりました。

年に一度、ホールを無料開放して楽しんでいただく「オープンハウス」では、サポーター（ボランティア）制度改革後初めてのプロジェクトサポーターと共に運営をしました。来場者の皆さまに、普段のアウトリーチの姿を舞台で見て活動を知っていただく良い機会となったのではないかと思います。

サポーターについては、私たちの活動を広める「基本の活動」の他、登録制の「ホールサポート」、「アウトリーチサポート」、外部からも募集する「オープンハウスプロジェクトサポーター」に分かれて活動し、それぞれが適材適所で活躍しました。こうした15年間の活動が評価されて、東京都が新設した「共助社会づくりを進めるための社会貢献大賞」第1回の特別賞を受賞したことは、私たちにとって大変な励みとなりました。この受賞に際しては、活動に取材が入り、明正小学校のアウトリーチの様子が、テレビ朝日「東京サイト」で放映されました。

2016年度はインターンシップを希望する学生も非常に多く、様々な場面で活躍しました。アートマネジメントを担う若手の人材育成もやはり「音楽とともに育つ」というテーマに沿ったことだと思います。

以上のように2016年度は、皆さまのご支援のおかげで、ホール事業、コミュニティ事業ともに「音楽とともに育つ」というテーマで様々な充実した活動を継続し、また新たな挑戦ができた1年でした。「音楽でつながり、音楽とともに生きる社会」の実現に向けて、また一歩前に進むことができたように思います。ありがとうございました。

今から3年後、2020年のオリンピック・パラリンピックイヤーはベートーヴェン生誕250年でもあります。またワクワクするような企画を考えて実行し、ビジョンの実現に向けて進んで参ります。引き続きご支援ご協力いただけましたら幸いです。（文中敬称略）

トリトン・アーツ・ネットワーク

理事 エグゼクティブ・プロデューサー 田中玲子

1 1-2. ホール事業

2016年度の事業の成果

■ 2016年度ホール事業

(1) **ライフサイクルコンサート** 「ライフサイクルコンサート」は、人生の様々なステージ（ライフサイクル）において、身近に音楽を楽しむ機会を提供するシリーズ。（文化庁「平成28年度劇場・音楽堂等活性化事業」）

雄大と行く 昼の音楽さんぽ

夜間に外出しづらい主婦や高齢者を主な対象とした、平日昼間に行う90分間のコンサートシリーズ。協賛：アフラック

シックスサデー

630コンサート

第一生命ホールが位置する晴海トリトンスクエア在勤者を主なターゲットにしたシリーズ。



公演 No.3, 9

公演 No.14, 16



公演 No.17

公演 No.26

子どもといっしょにクラシック

4歳以上のお子さまとご家族にはホールで、乳幼児のお子さまにはロビーで楽しんでいただけるコンサート。（公演 No.30 助成：私的録音補償金管理協会（Sarah））



公演 No.11

公演 No.24

公演 No.30

公演 No.7, 22, 28

(2) **カルテット・ウィークエンド (SQW)** 室内楽の中でも最も繊細かつ奥深いジャンルのひとつである弦楽四重奏を紹介するシリーズ。（公演 No.10, 13, 23, 29 助成：公益財団法人花王 芸術・科学財団）



公演 No.10, 13, 23



公演 No.27 (トリトンアーツ共催公演)



公演 No.29

(3) **ウィークエンド・コンサート** 室内楽に適した第一生命ホールで、本格的なプログラムを、週末に定期的に楽しんでいただくシリーズ。

室内楽の魅力



公演 No.2, 4, 12

公演 No.20, 21

児玉麻里 ベートーヴェン ピアノ・ソナタ選集



公演 No.6

トリトン晴れた海の オーケストラ



公演 No.15

(4) **トリトンアーツ共催公演** 合唱や邦楽など、トリトン・アーツ・ネットワーク主催公演では取り上げにくい公演を協力して実施している。公演 No.1, 5, 8, 18, 19, 25, 27

■ 2016 年度ホール事業一覧

公演 No.	公演日時	シリーズ	公演名	受益者数	ボランティア数
1	4/17 日 15:00	トリトンアーツ共催公演	第 63 回住友商事ヤング・シンフォニー CLASSIC FOR KIDS 2016 ～TV・映画の中のオーケストラ～ 主催：住友商事株式会社	629	0
2	5/14 土 14:00	ウィークエンド・コンサート	室内楽の魅力 プラームス 第 3 回～若き日の恋 堀 正文ら弦の名手たち & 萩原麻未	359	3
3	5/27 金 11:00	ライフサイクルコンサート	雄大と行く 昼の音楽さんぽ 第 5 回 与那城敬&小川里美 さすらいの詩 魂の歌	237	3
4	6/4 土 14:00	ウィークエンド・コンサート	室内楽の魅力 プラームス 第 4 回～トウーン湖畔の夏 トリオ・ヴァンダラー	331	2
5	6/12 日 13:30	トリトンアーツ共催公演	Buzz Five 20th Anniversary Concert 主催：Buzz Five	133	3
6	7/1 金 14:00	ウィークエンド・コンサート	假屋崎省吾と聴く 児玉麻里 ベートーヴェン ピアノ・ソナタ選集 I	449	3
7	7/8 金 10:00 11:30 13:30	ライフサイクルコンサート	子どもといっしょにクラシック～第 19 回ロビーでよちよちコンサート	116	6
8	8/9 火 19:00	トリトンアーツ共催公演	林光メモリアル 東混八月のまつり - 東京混声合唱団特別定期演奏会 37 東混創立 60 周年記念連続定期演奏会 -1 主催：一般財団法人合唱音楽振興会	363	2
9	8/23 火 11:00	ライフサイクルコンサート	雄大と行く 昼の音楽さんぽ 第 6 回 金子三勇士 パルトーク！ピアノの魔法を解き明かす！	534	3
10	9/3 土 14:00	SQW#125	ディオティマ弦楽四重奏団	216	2
11	9/10 土 14:00	ライフサイクルコンサート	子どもといっしょにクラシック～「音楽と絵本」コンサート 『スーホの白い馬』	541	6
12	9/25 日 14:00	ウィークエンド・コンサート	室内楽の魅力 プラームス 第 5 回～音楽家たちとの友情 II 小山実稚恵 & アルティ弦楽四重奏団	572	4
13	10/10 月・祝 14:00	SQW#126	ウェールズ弦楽四重奏団	291	2
14	10/15 土 11:00	ライフサイクルコンサート	雄大と行く 昼の音楽さんぽ 第 7 回 須川展也 サクソフォンの明日へ	444	3
15	10/30 日 14:00	ウィークエンド・コンサート	トリトン晴れた海のオーケストラ 第 2 回演奏会	560	3
16	11/2 水 11:00	ライフサイクルコンサート	雄大と行く 昼の音楽さんぽ 第 8 回 岡本誠司 ヴァイオリンが歌うロマンス	311	3
17	11/2 水 18:30	ライフサイクルコンサート	630コンサート～充電の 60 分～ 岡本誠司 ヴァイオリン・リサイタル～フランスのエスプリ～	509	3
18	11/3 木・祝 15:00	トリトンアーツ共催公演	第 64 回住友商事ヤング・シンフォニー～秋の名曲コンサート～ 主催：住友商事株式会社	548	0
19	11/19 土 14:00	トリトンアーツ共催公演	日本音楽集団 第 219 回定期演奏会 主催：特定非営利活動法人日本音楽集団	245	3
20	11/20 日 14:00	ウィークエンド・コンサート	室内楽の魅力 モーツァルト 第 1 回～15 周年記念ガラ・コンサート	455	3
21	11/26 土 14:00	ウィークエンド・コンサート	室内楽の魅力 モーツァルト 第 2 回～パボラーク ホルンの室内楽	641	2
22	11/30 水 10:00 11:30 13:30	ライフサイクルコンサート	子どもといっしょにクラシック～第 20 回ロビーでよちよちコンサート	132	6
23	12/4 日 14:00	SQW#127	ブラジャーク・クワルテット 共演：山崎智子（ヴィオラ）	318	3
24	12/10 土 13:30 16:00	ライフサイクルコンサート	子どもといっしょにクラシック～クリスマス・オーケストラ・コンサート	560 553	4
25	12/16 金 19:00	トリトンアーツ共催公演	東京混声合唱団第 241 回定期演奏会 東混創立 60 周年記念連続定期演奏会 No.4 主催：一般財団法人合唱音楽振興会	346	3
26	2017.2/8 水 18:30	ライフサイクルコンサート	630コンサート～充電の 90 分～ 本田雅人 B.B. STATION - Big Band Night -	605	2
27	2017.2/19 日 14:00	SQW#128 / 共催公演	エルデーディ弦楽四重奏団～弦楽四重奏のみに託されたベートーヴェン最 晩年の高貴なるメッセージ III 主催：エルデーディ弦楽四重奏団	276	2
28	2017.3/9 木 10:00 11:30 13:30	ライフサイクルコンサート	子どもといっしょにクラシック～第 21 回ロビーでよちよちコンサート	132	5
29	2017.3/12 日 14:00	SQW#129	クアルテット・エクセルシオ ～アラウンド・モーツァルト vol.2 ウィーンでの素敵な出逢い	485	2
30	2017.3/18 土 14:00	ライフサイクルコンサート	子どもといっしょにクラシック～子育て支援コンサート 『びっぼのたび』	458	50

計 12,349 136

(1) ライフサイクルコンサート

雄大と行く 昼の音楽さんぽ

〈ライフサイクルコンサート〉

公演 No. 3

雄大と行く 昼の音楽さんぽ 第5回
与那城敬&小川里美 さすらいの詩魂の歌
5月27日(金) 11:00 開演

■出演者

与那城敬(バリトン) 小川里美(ソプラノ) 巨瀬励起(ピアノ)
山野雄大(ご案内)

■演奏曲

ヴォーン・ウィリアムズ: 歌曲集《旅の歌》(与那城)
デュバルク: 戦いのある国へ(小川)
デュバルク: 旅への誘い(小川)
プーランク: 歌曲集《平凡な話》(小川)

■チケット料金(全席指定)

一般¥2,000 お友だち割¥1,500(同一公演3枚以上で1枚あたり)
2公演(第5・6回)セット券¥3,000

■入場者数 237名/販売対象数566(41.9%)

■ねらい・振り返り 「旅」をテーマにした歌曲を、与那城敬と小川里美による心のこもった歌唱でお届けした。出演者翻訳による字幕、山野雄大の翻訳配布や解説も好評だった。当シリーズのコンセプト通



◎大窪道治

り、気軽に楽しく、かつ深くお楽しみいただけた。

■来場者の声 心にしみる歌をありがとうございました。／素晴らしい歌唱に圧倒されました！／雄大さんの解説もとても面白く、ためになりました。／素晴らしい曲に出会えてよかった。／出演者全員の思い・語りも聞けて良かった。

〈ライフサイクルコンサート〉

公演 No. 9

雄大と行く 昼の音楽さんぽ 第6回
金子三勇士 バルトーク! ピアノの魔法を解き明かす!

8月23日(火) 11:00 開演

■出演者

金子三勇士(ピアノ) 山野雄大(ご案内)

■演奏曲

〈ピアノ・ソナタへの道——傑作はいかに生まれたか?〉
バルトーク: 《ミクロコスモス》より「オスティナート」
スカルラッチェ: ソナタ 長調 K427
バルトーク: 《ミクロコスモス》より「バッハに捧ぐ」
J.S. バッハ: 平均律クラヴィア曲集第2巻 第15番 長調
バルトーク: 《子供のために》より「豚飼いの踊り」
リスト: ラ・カンパネラ
バルトーク: 《子供のために》より「バラード」
ショパン: バラード第1番 短調 Op. 23
バルトーク: 《子供のために》より「左手のための練習曲」
ショパン: エチュード第12番 短調 Op. 10-12 「革命」
バルトーク: 《9つのピアノ小品》より「チェルゲーの踊り」
コダーイ: 《7つの小品》より「エピタフ(墓碑銘)」
〈徹底解説! お話と演奏で傑作を知り尽くす!〉
バルトーク: ピアノ・ソナタ

■チケット料金(全席指定)

一般¥2,000 お友だち割¥1,500(同一公演3枚以上で1枚あたり)
2公演(第5・6回)セット券¥3,000

■入場者数 534名/販売対象数759(70.4%)

■ねらい・振り返り ハンガリーの血をひくピアニスト・金子三勇士



◎越間有紀子



◎越間有紀子

によるバルトークのピアノ・ソナタを紐解くプログラム。絶妙な選曲と丁寧なお話、エネルギッシュな演奏に、多くのお客さまからご好評いただいた。夏休み中の開催で、小学生にも多く来場いただけた。

■来場者の声 金子さんの音楽への取り組み方に感動しました。ソナタまで導いてくれるプログラム構成とトーク、とても素晴らしかったです。バルトークが好きになりました。／今まで聴いたことのないソナタの演奏、とても exciting でした。

〈ライブサイクルコンサート〉

雄大と行く 昼の音楽さんぽ 第7回

須川展也 サクソフォンの明日へ

10月15日(土) 11:00 開演

■出演者

須川展也(サクソ) 小柳美奈子(ピアノ) 山野雄大(ご案内)

■演奏曲

J.S. バッハ：G線上のアリア

マルチェロ：オーボエ協奏曲

吉松隆：悲の鳥 Op.59-2 (サクソフォン協奏曲「サイバーバード」より第2楽章)

チック・コリア：アルト・サクソフォンとピアノのためのソナタ
"Florida to Tokyo" [世界初演/須川展也委嘱作品]

ピアノソラ：アヴェ・マリア

チック・コリア(辛島文雄編)：アルマンドのルンバ

ガーシュウィン(狭間美帆編)：「すべてを知っている場所」からの
リ - ガーシュウィン・メロディーズ

■チケット料金(全席指定)

一般¥2,000 お友だち割¥1,500(同一公演3枚以上で1枚あたり)

2公演(第7・8回)セット券¥3,000

■入場者数 444名/販売対象数566(78.4%)

■平成28年度(第71回)文化庁芸術祭参加公演

■ねらい・振り返り チック・コリア作品の世界初演を中心に、サクソ界をリードし続ける須川展也ならではのプログラムをお届けした。サクソフォンの明日への思い溢れる熱演に、多くの感動の声をいただいた。



©大窪道治



©大窪道治

いた。サクソフォン奏者による来場が多かった。

■来場者の声 須川さんと小柳さん、それぞれの楽器と全身が一体化した艶のある音色の中にいられて、幸せなひとときでした。/チック・コリアのソナタ、すごかったです。/とても素敵な演奏でした。もう一度 SAX を演奏したくなりました。

〈ライブサイクルコンサート〉

雄大と行く 昼の音楽さんぽ 第8回

岡本誠司 ヴァイオリンが歌うロマンス

11月2日(水) 11:00 開演

■出演者

岡本誠司(ヴァイオリン) 上田晴子(ピアノ) 山野雄大(ご案内)

■演奏曲

クライスラー：愛の喜び/愛の悲しみ

クララ・シューマン：3つのロマンス Op.22

ラフマニノフ：2つのサロン風の小品 Op.6

シベリウス：ロマンス Op.78-2

スーク：愛の歌 Op.7-1

シマノフスキ：神話 - 3つの詩 Op.30

アレトウーサの泉/ナルシス(ナルキッソス)/ドリアドと牧神

エルガー：愛のあいさつ Op.12

■チケット料金(全席指定)

一般¥2,000 お友だち割¥1,500(同一公演3枚以上で1枚あたり)

2公演(第7・8回)セット券¥3,000

■入場者数 311名/販売対象数566(54.9%)

■ねらい・振り返り ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリンコンクールで2位を受賞した若手奏者の岡本誠司による、ロマンスをテーマに選曲したプログラム。共演の上田晴子との初共演とは思えない見事なアンサンブルと豊かな音色に今後の活躍を期待する声が多くあった。



©大窪道治

■来場者の声 お昼の公演らしく、ロマンスが題材のプログラムで聴きやすくよかったです。お2人のかげあいがとても素敵で良かったです。/岡本さんには以前より注目していました。素晴らしい演奏でした。これからも楽しみです。

〈ライフサイクルコンサート〉

公演 No. 17

630コンサート～充電の60分～

岡本誠司 ヴァイオリン・リサイタル～フランスのエスプリ～

11月2日(水) 18:30 開演

■出演者

岡本誠司(ヴァイオリン) 上田晴子(ピアノ)

■演奏曲

ファリャ(クライスラー編):スペイン舞曲第1番

ブーランク:ヴァイオリン・ソナタ

ショーソン:詩曲

ラヴェル:ツィガーヌ

■チケット料金(全席指定)

一般¥2,200

■入場者数 509名/販売対象数759(67.1%)

■ねらい・振り返り 仕事帰りのオフィスワーカーに音楽でリフレッシュしていただく企画。数々の世界的コンクールで絶賛された岡本誠司による才気あふれる演奏に多くのお客さまが感嘆。アンコールのバッハ「無伴奏ソナタ」では涙するお客さまも見られた。



©大窪道治

■来場者の声 仕事の後に素晴らしい時間を過ごすことができました。/本当にこれからは楽しみな演奏!素晴らしい音色、表情豊かな表現。/ヴァイオリンがこんなに素晴らしい高雅な音をつむぐかと感動いたしました。

〈ライフサイクルコンサート〉

公演 No. 26

630コンサート～充電の90分～

本田雅人 B.B. STATION - Big Band Night -

2017年2月8日(水) 18:30 開演

■出演者

本田雅人 B.B. STATION

[本田雅人/吉田治(アルト・サククス)

竹野昌邦/鈴木圭(テナー・サククス)

鎌田修一(バリトン・サククス)

エリック宮城/佐久間勲/田中充/小林正弘(トランペット)

半田信英/笹栗良太/中野寛子*(トロンボーン)

野々下興一(バス・トロンボーン)

則竹裕之(ドラムス) 井上陽介(ベース)

梶原順(ギター) 秋田慎治(ピアノ)]

*中川英二郎(トロンボーン)の急病により代演

■演奏曲

本田雅人:Theme for BBS

本田雅人:Condolence

本田雅人:Fair Affection

David Foster:Winter Games

本田雅人:Pinocchio

三木たかし:アンパンマンのマーチ

小川聡:好きですトリトン

大野雄二:ルパン三世のテーマ

本田雅人:サクスのためのソナタ第18番「おはこ」

本田雅人:It Do Mean A Thing

本田雅人:Megalith

■チケット料金(全席指定)

一般¥3,500 バルコニー席¥2,500

■入場者数 605名/販売対象数706(85.7%)

■ねらい・振り返り 仕事帰りのオフィスワーカーに音楽でリフレッシュ



©藤本史昭



©藤本史昭

していただく企画。本田雅人率いる豪華メンバーによるビッグバンド。第一生命ホールの響きを活かした特殊な配置がお客さまと出演者の双方に好評。再演を望む声と、ホールの響きへのお褒めの声を多数いただいた。

■来場者の声 すばらしく上手かった!!格好良かった!/横一列に並んだビッグバンド、レアな配置で聴けて面白かった/初めて第一生命ホールで聴いたのですが、すばらしいです。生音がすごかった。/ジャズが好きになりました。

〈ライフサイクルコンサート〉

公演 No.11

子どもといっしょにクラシック
～「音楽と絵本」コンサート『スーホの白い馬』
9月10日(土) 14:00 開演

■出演者

田村緑 (ピアノ) 沼田絵恋 (フルート) 西尾郁子 (クラリネット) 小川正毅 (ホルン) 神田佳子 (打楽器)
弦楽四重奏 [野口千代光/千葉純子 (ヴァイオリン) 安藤裕子 (ヴィオラ) 中田有 (チェロ)]
市橋邦彦 (朗読)

■演奏曲

【第1部】 いろいろな楽器の音色を聴いてみよう (楽器紹介もあるよ)

モーツァルト:ホルン協奏曲 第1番より

アンダーソン:プリंक・プランク・プランク

シュライナー:だんだん小さく

村松崇継: EARTH

ラフマニノフ:パガニーニの主題による狂詩曲 第18変奏

ハチャトゥリアン:剣の舞

【第2部】 音楽と絵本「スーホの白い馬」

(モンゴル民話/大塚勇三再話/赤羽末吉画/福音館書店)

(演奏曲:グリーグ「ピアノ協奏曲」より抜粋/編曲:長生淳/構成:田村緑)

■チケット料金 (全席指定)

大人 ¥2,000 (中学生以上) 子ども ¥1,000 (4歳以上、小学生以下)

※託児 (有料) サービス有り (託児利用者数 9組)

■入場者数 541名/販売対象数 711 (76.1%)

■後援 中央区・中央区教育委員会

■協力 株式会社 福音館書店

■ねらい・振り返り 6年前に制作した音楽と絵本『スーホの白い馬』



©大窪道治



©大窪道治

を再演する機会を得られたことで、リハーサル毎に完成度が高まり、迫真に迫った市橋邦彦の朗読による物語と、グリーグのピアノ協奏曲の生演奏による相乗効果で、音楽と絵本の世界を存分に楽しんでもらうことができた。

■来場者の声 情感あふれる音楽と朗読、絵本の内容があいまって、幾度となく浸っていたい感動あふれる素晴らしい音楽(絵本)の世界でした。(40代女性) / 楽器の特性、特徴をいかした選曲に、子どものあきない演出が素晴らしいかった!

〈ライフサイクルコンサート〉

公演 No.24

子どもといっしょにクラシック
～クリスマス・オーケストラ・コンサート
12月10日(土) ① 13:30 開演 ② 16:00 開演

■出演者

ARCUS (アルクス) (管弦楽)

■演奏曲

バルトーク:ルーマニア民族舞曲

チャイコフスキー:バレエ音楽「くるみ割り人形」より (木管五重奏)

J.B.G. ネルダ:トランペット協奏曲 変ホ長調より第1楽章

アンダーソン:クリスマス・フェスティバル (※1)

ベートーヴェン:交響曲第7番イ長調より第1楽章

グラーバー:きよしこの夜 (※2)

(※1) 小学生限定ステージ上で聴く体験つき (各回 40名限定/事前申込制)

(※2) 小学生限定ステージ上で歌う体験つき (各回 40名限定/事前申込制)

■チケット料金 (全席指定)

大人 ¥2,000 (中学生以上) 小学生 ¥1,000 4~6歳 ¥1,000

※託児 (有料) サービス有り (託児利用者数 29組)

■入場者数 ① 560名/販売対象数 658 (85.1%)

② 553名/販売対象数 658 (84.0%)

■後援 中央区・中央区教育委員会



■ねらい・振り返り 毎年人気のファミリーコンサート。出演者の子ども達との距離感を縮めたいという思いから生まれた新企画「ステージ上で歌おうコーナー」は、1回目の課題点をもとに改善し、2回目は会場と一体となって歌うことができた。来年も来たいとの声を多くいただいた。

■来場者の声 きょうは、おたんじょうびです。オーケストラからプレゼントがもらえたようです。/指揮がないのにみんな合わせていてすごかった。/わかりやすいお話があり、力強く素晴らしい演奏でした。また来たいです。

〈ライフサイクルコンサート〉

子どもといっしょにクラシック
～子育て支援コンサート『ぴっぽのたび』
2017年3月18日(土) 14:00 開演

■出演者

松原勝也(ヴァイオリン)

弦楽アンサンブル[北見春菜/竹内弦/内藤歌子/中川直子/皆川櫻子/吉野駿(ヴァイオリン) 伊藤慧/福田道子(ヴィオラ) 海老澤洋三/山澤慧(チェロ) 佐々木大輔(コントラバス)]

染谷麻衣(朗読)

■演奏曲

【第1部】(約30分)

◎大人のためのコンサート(小学生以上)

[出演]松原勝也(ヴァイオリン) 伊藤慧(ヴィオラ) 山澤慧(チェロ)

[演奏曲]

ビーバー:パッサカリア(ヴァイオリン)

モーツァルト:ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲K423より第1楽章(ヴァイオリン、ヴィオラ)

ドホナーニ:セレナードより第1楽章、第2楽章、第5楽章(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ)

◎子どものための音楽スタジオ(4～6歳のお子さま対象)

いちご組(4歳) ヴァイオリン2名

メロン組(4歳) ヴァイオリン2名

ぶどう組(4,5歳) ヴァイオリン&チェロ

パイナップル組(5,6歳) ヴァイオリン&ヴィオラ&コントラバス

[出演]北見春菜/竹内弦/内藤歌子/中川直子/皆川櫻子/吉野駿(ヴァイオリン) 福田道子(ヴィオラ) 海老澤洋三(チェロ) 佐々木大輔(コントラバス)

【第2部】(約40分)

◎弦楽器の音色やアンサンブルをきこう!

ドビュッシー:2つのアラベスクより第1番ホルン調(編曲:松原勝也)
ほか

◎音楽と絵本:『ぴっぽのたび』[刀根里衣作/NHK出版]

(演奏曲:ドビュッシー「月の光」「パスピエ」「アラベスク第1番」ほか
編曲・構成:松原勝也)

■チケット料金(全席指定)

大人¥2,000(中学生以上) 小学生¥1,000 未就学4～6歳¥1,000

※託児(有料)サービス有り(託児利用者数 8組)

■入場者数 458名/販売対象数711(64.4%)

■後援 中央区・中央区教育委員会

■協力 株式会社NHK出版



【第1部】大人のためのコンサート ©池上直哉



【第1部】子どものための音楽スタジオ ©越間有紀子



【第2部】音楽と絵本「ぴっぽのたび」 ©池上直哉

■ねらい・振り返り 第1部は、子育て真っ最中の保護者向けに、本格的な弦楽器のソロ、デュオ、トリオのコンサートを、4～6歳児には同時進行の「子どものための音楽スタジオ」で身近に生の演奏に触れてもらった。第2部は絵本「ぴっぽのたび」にドビュッシーの音楽を弦楽アンサンブルで合わせ、親子一緒に楽しんでもらった。

■来場者の声 最初は暇そうにしていた息子でしたが、最後は泣いていました。きれいな絵と音楽に胸を打たれたのだと思います。／大人だけで子どもの心配をすることなくゆっくりと音楽を聴けて幸せでした。(30代・女性)

子どもといっしょにクラシック～ロビーでよちよちコンサート

大きなホールの客席で聴いてもらうにはまだ少し早い1～3歳の乳幼児とその保護者を対象としたコンサート。ホールロビーのカーペット上に座って、間近に少人数で親子一緒に生演奏の楽しさを味わってもらった。

公演 No. 7

〈ライフサイクルコンサート〉

子どもといっしょにクラシック ～第19回ロビーでよちよちコンサート 7月8日(金)

- ① 10:00～10:45 (1歳児対象)
- ② 11:30～12:15 (1～2歳児対象)
- ③ 13:30～14:15 (2～3歳児対象)

■出演者

北見春菜(ヴァイオリン) 小澤剛(コントラバス)
井上紗織(フルート) 佐々木匡史(トロンボーン)
五田詩朗(打楽器)

■演奏曲

ヘンデル:水上の音楽 組曲第2番より 第2曲「アラ・ホーンパイプ」
J.S. バッハ: 無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第3番より「ガヴォット」
メンデルスゾーン: 歌の翼に
井上武士: 海
ガーシュウィン: 歌劇「ポーギーとベス」より「サマータイム」
フランス民謡: きらきら星
ビゼー: 歌劇「カルメン」より「ハバネラ」
デンツァ: フニクリ・フニクラ
日本の民謡: 八木節
玉山 英光: ひげじいさん
L. モーツァルト: おもちゃのシンフォニー
マスカーニ: 歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より間奏曲

■料金 親子1組(大人1名と子ども1名) ¥800

■(応募数[第1希望]/当選数/来場数)

- ① 22組/27組/21組 (1歳児)
- ② 65組/29組/18組 (1～2歳児対象)
※0歳児同伴2組
- ③ 35組/30組/19組 (2～3歳児対象)
※0歳児同伴4組、未就学児同伴1組

■振り返り 一緒に参加できる手遊び歌を1曲取り入れ、変化に富んだプログラムで、これまでも増して音楽を聴くのも参加するのも能動的に楽しんでいただけた。

■来場者の声 子どもも音を聴き、体で感じていました。本物の楽器を近くで見ることが出来て親子共に良い経験となりました。一緒に楽器で演奏できたり手遊び歌もあり、子どもが楽しめていました。親も素敵な音色をゆっくり聴けて、心がとても満ちました



©藤本史昭

公演 No. 22

〈ライフサイクルコンサート〉

子どもといっしょにクラシック ～第20回ロビーでよちよちコンサート 11月30日(水)

- ① 10:00～10:45 (1歳児対象)
- ② 11:30～12:15 (1～2歳児対象)
- ③ 13:30～14:15 (2～3歳児対象)

■出演者

中川直子(ヴァイオリン) 田中愛(チェロ)
北岡羽衣(クラリネット) 松木亜希(トロンボーン) 五田詩朗(打楽器)

■演奏曲

クラーク: デンマーク王子の行進曲「トロンバット・ヴォランタリー」
クライスラー: 愛の喜び
エルガー: 愛のあいさつ
ウェーバー: クラリネット五重奏曲より第4楽章
アンダーソン: トロンバット吹きの子守歌
アンダーソン: プリンク・プランク・プリンク
デンマーク民謡より: いとまきのうた
アンダーソン: そりすべり
ラヴェル: ボレロ
L. モーツァルト: おもちゃのシンフォニー
ブラームス: 子守歌

■料金 親子1組(大人1名と子ども1名) ¥800

■(応募数[第1希望]/当選数/来場数)

- ① 26組/27組/25組 (1歳児対象)
- ② 64組/27組/24組 (1～2歳児対象)
- ③ 43組/23組/17組 (2～3歳児対象)
※0歳児同伴3組、未就学児同伴3組

■振り返り 音楽をたつぷりと聴いてもらえ、参加できる曲も2曲あり、子どもたちの興味を惹きつけ緩急に富んだ満足度の高いプログラムで、親子でゆったりと豊かな時間を共有してもらった。

■来場者の声 4歳になったら第一生命ホールで行われるコンサートにも連れて行き、子どもに生の演奏を聞かせる機会をこれからも定期的に作っていきたい。そのきっかけを与えて下さったこのイベントに出会えて本当に感謝しています。



公演 No. 28

〈ライフサイクルコンサート〉

子どもといっしょにクラシック ～第21回ロビーでよちよちコンサート 2017年3月9日(木)

- ① 10:00～10:45 (1歳児対象)
- ② 11:30～12:15 (1～2歳児対象)
- ③ 13:30～14:15 (2～3歳児対象)

■出演者

内藤歌子(ヴァイオリン) 海老澤洋三(チェロ)
桃原健一(オーボエ) 高橋朋子(ホルン)
海老澤幸二(ドラムス)

■演奏曲

ヘンデル:水上の音楽 組曲第2番より 第2曲「アラ・ホーンパイプ」
アンダーソン: ワルツィング・キャット
團伊玖磨: ぞうさん
レハール: メリーウィドウのワルツ
チャイコフスキー: 白鳥の湖より「情景」
チャイコフスキー: 白鳥の湖より「白鳥たちの踊り」
童謡: かたつむり
モーツァルト: ホルン協奏曲第4番 変ホ長調 第3楽章
越部信義: おもちゃのチャチャチャ
童謡: 手をたたきましょう
アメリカ民謡: リバブリック讃歌
L. モーツァルト: おもちゃのシンフォニー
武満徹: 小さな空

■料金 親子1組(大人1名と子ども1名) ¥800

■(応募数[第1希望]/当選数/来場数)

- ① 58組/30組/26組 (1歳児対象)
- ② 68組/25組/21組 (1～2歳児対象)
※0歳児同伴1組、未就学児同伴1組
- ③ 45組/24組/19組 (2～3歳児対象)
※0歳児同伴3組、未就学児同伴1組

■振り返り 動物の曲を使った楽器紹介や、耳なじみのある曲のプログラムがとても好評だった。応募が多く抽選になるため初めて来場される方も多く、生演奏を間近に楽しんでもらった。

■来場者の声 初めての生演奏だったのですが、とても楽しそうでこんなに音楽が好きだったのかと気付かされました。／育児に追われる中、心にしました。／パパも来たいので0～3歳向けのコンサートを週末にも実施して欲しい。



(2) クアルテット・ウィークエンド (SQW)

〈クアルテット・ウィークエンド #125〉

公演 No.10

ディオティマ弦楽四重奏団 9月3日(土) 14:00 開演

■出演者

ディオティマ弦楽四重奏団 [ユン・ペン・チアオ / コンスタンス・ロンザッティ (ヴァイオリン) フランク・シュヴァリエ (ヴィオラ) ピエール・モルレ (チェロ)]

■演奏曲

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第14番 嬰ハ短調 Op.131
ブーレーズ：「弦楽四重奏のための書」より 1a・1b (改訂版)
シェーンベルク：弦楽四重奏曲 第1番 二短調 Op.7

■チケット料金 (全席指定)

一般¥5,000 シニア¥4,500 (60歳以上) ヤング¥1,500 (小学生以上、25歳以下)
セット券 (SQW5 公演) 一般¥19,500 シニア¥17,000

■入場者数 216名 / 販売対象数 759 (28.5%)

■ねらい・振り返り ベートーヴェン後期の作品とシェーンベルク、ブーレーズを組合せた、欧州等で評価の高かったプログラムをおお



©三次真二

りした。特に、生前のブーレーズと演奏家との共同作業による改訂版は、深い理解と充実した解釈を持つ彼らだからこそその演奏をお聴き頂けた。

■来場者の声 ベートーヴェンの“前衛性”がブーレーズとシェーンベルクと一緒に演奏されて初めて分かったように思います。／緊迫感にあふれ美しいブーレーズ、文学的で豊かなシェーンベルクは哲学的な無に消えてゆく感動的な演奏でした。

〈クアルテット・ウィークエンド #126〉

公演 No.13

ウェールズ弦楽四重奏団 10月10日(月・祝) 14:00 開演

■出演者

ウェールズ弦楽四重奏団 [崎谷直人 / 三原久遠 (ヴァイオリン) 横溝耕一 (ヴィオラ) 富岡廉太郎 (チェロ)]

■演奏曲

シューベルト：弦楽四重奏曲 第13番 イ短調 D804「ロザムンデ」
ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第12番 変ホ長調 Op.127

■チケット料金 (全席指定)

一般¥4,000 シニア¥3,500 (60歳以上) ヤング¥1,500 (小学生以上、25歳以下)
セット券 (SQW5 公演) 一般¥19,500 シニア¥17,000

■入場者数 291名 / 販売対象数 759 (38.3%)

■ねらい・振り返り 今ももっとも注目されている日本の若手クアルテットによる、1年に1公演の3回シリーズの第1回。第一生命ホール初登場ながら、ホールの響きとも調和し、緊密な演奏は、長年の愛



©大窪道治

好者からも評価が高かった。来年、再来年と行われる公演に、さらなる期待が高まる。

■来場者の声 期待に違わぬ名演奏、至福の時をありがとうございました。素晴らしい! / ウェールズQの将来にさらに期待します。／どれも瑞々しい演奏だったと思います。／作品に対して愛情を込めて演奏していらっしゃいました。

〈クアルテット・ウィークエンド #127〉

公演 No.23

プラジャーク・クアルテット 共演：山崎智子 (ヴィオラ) 12月4日(日) 14:00 開演

■出演者

プラジャーク・クアルテット [ヤナ・ヴォナシュコーヴァ / ヴラストイミル・ホレク (ヴァイオリン) ヨセフ・クルソニユ (ヴィオラ) ミハル・カニユカ (チェロ)]
共演：山崎智子 (ヴィオラ)

■演奏曲

ドヴォルザーク：弦楽四重奏曲 第10番 変ホ長調 Op.51
ドヴォルザーク：弦楽四重奏曲 第12番 へ長調 Op.96「アメリカ」
ブラームス：弦楽五重奏曲 第2番 ト長調 Op.111

■チケット料金 (全席指定)

一般¥5,000 シニア¥4,500(60歳以上) ヤング¥1,500(小学生以上、25歳以下)
セット券 (SQW5 公演) 一般¥19,500 シニア¥17,000

■入場者数 318名 / 販売対象数 759 (41.9%)

■ねらい・振り返り チェコの伝統を受け継ぐクアルテットによるチェコ・プログラム。第1ヴァイオリン新加入後、日本では初お披露



©三次真二

目となり、伝統を残しつつも、瑞々しい演奏に多くのお客さまが心を奪われた。後半は、交流の深いロータス・クアルテットの山崎智子を迎え息の合った五重奏をおおくりした。

■来場者の声 新しい奏者の加入に違和感を覚えていましたが、拝聴して、そんなものは覆されました。リフレッシュされ、一層柔らかく精緻な音楽が、素晴らしかったです。／とても柔らかいハーモニーに心を奪われました。情熱とロックを感じました。

【共催】〈クァルテット・ウィークエンド #128〉

エルデーディ弦楽四重奏団～弦楽四重奏のみに託された ベートーヴェン最晩年の高貴なるメッセージⅢ

2017年2月19日(日) 14:00 開演

■出演者

エルデーディ弦楽四重奏団 [蒲生克郷/花崎淳生 (ヴァイオリン)
桐山建志 (ヴィオラ) 花崎薫 (チェロ)]

■演奏曲

ブラームス: 弦楽四重奏曲 第2番 イ短調 Op.51-2

ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第13番 変ロ長調 Op.130/133 「大フーガ付」

■チケット料金 (全席指定)

一般¥4,000 シニア¥3,500(60歳以上) ヤング¥1,500(小学生以上、25歳以下)
セット券 (SQW5公演) 一般¥19,500 シニア¥17,000

■入場者数 276名/販売対象数759 (36.4%)

■主催 エルデーディ弦楽四重奏団

■ねらい・振り返り ベートーヴェンの後期作品をメインとして据えた3回目の公演。ベートーヴェン作曲当時の意図通り「大フーガ」として単独に出版されたものを終楽章とした演奏会は、演奏家にとって



初めての試みだったが、緊張感が一瞬たりとも途切れることなく、お客さまの心をとらえ続けた。

■来場者の声 ベートーヴェンの第13番を大フーガの終楽章で演奏する事は、大変良い企画だと思う。しかもアンコールが書き直した方の終楽章で感動した。日本の演奏家、団体の技量、音楽性の向上には、全く瞠目すべきものがあると感じた。

〈クァルテット・ウィークエンド #129〉

クァルテット・エクセルシオ

～アラウンド・モーツァルト vol.2 ウィーンでの素敵な出会い

2017年3月12日(日) 14:00 開演

■出演者

クァルテット・エクセルシオ [西野ゆか/山田百子 (ヴァイオリン)
吉田有紀子 (ヴィオラ) 大友肇 (チェロ)]
共演: 澤村康恵 (クラリネット)

■演奏曲

モーツァルト: 歌劇「フィガロの結婚」序曲 (弦楽四重奏版)

シューベルト: 弦楽四重奏曲 第6番 二長調 D74

モーツァルト: 弦楽四重奏曲 第17番 変ロ長調 K458 「狩」

シュタードラー: 二重奏曲 第1番 (クラリネットとヴィオラ版)

モーツァルト: クラリネット五重奏曲 イ長調 K581

■チケット料金 (全席指定)

一般¥4,000 シニア¥3,500(60歳以上) ヤング¥1,500(小学生以上、25歳以下)
セット券 (SQW5公演) 一般¥19,500 シニア¥17,000

■入場者数 485名/販売対象数759 (63.9%)

■ねらい・振り返り モーツァルトの作品や時代、音楽家との交流などに焦点をあてたプログラム。クラリネット奏者澤村康恵を迎え、シュタードラーの二重奏や、モーツァルトの名作《クラリネット五重奏曲》な



どを演奏。比較的聴きやすい小品を集めたプログラムで、多くのお客さまが集った。

■来場者の声 クラリネット入り室内楽を聴くのは初めてです。とても柔らかくて艶のある音色だと思います。/エクセルシオは勿論良かったですが、客演のクラリネットも素晴らしく良かったです。シュタードラーの曲も、もっと聴きたかった。

(3) ウィークエンド・コンサート

室内楽の魅力

公演 No. 2

〈ウィークエンドコンサート〉

室内楽の魅力

ブラームス 第3回～若き日の恋

5月14日(土) 14:00 開演

■出演者

堀 正文／森田昌弘(ヴァイオリン) 佐々木 亮／中村翔太郎(ヴィオラ) 木越 洋／宮坂拓志(チェロ) 萩原麻未(ピアノ)

■演奏曲

ブラームス：弦楽六重奏曲第1番変ロ長調 Op.18

ピアノ四重奏曲第1番ト短調 Op.25

■チケット料金(全席指定)

S席¥5,000 A席¥4,500 B席¥3,500 ヤング¥1,500(小学生以上、25歳以下)

セット券 S ¥13,500 [第3・4・5回]

■入場者数 359名/販売対象数759(47.3%)

■後援 日本ブラームス協会

■ねらい・振り返り 堀正文を始めとした弦の名手たちと、ソロだけでなく室内楽にも意欲的に取り組む萩原麻未による初共演で、ブラームスの青春を彩る傑作をお届けした。音楽への深い愛情に満ちた名演で、室内楽ホールとして、お客さまに室内楽の醍醐味をご紹介します好機となった。

■来場者の声 圧倒されました。作曲者の魂が乗り移ったかと思いました。／または非この素晴らしいメンバーの室内楽を聴きたいです。



©大窪道治



©大窪道治

／数多く聴いたブラームスの演奏の中でも最も深く心にしみるもの一つだった。

公演 No. 4

〈ウィークエンドコンサート〉

室内楽の魅力

ブラームス 第4回～トゥーン湖畔の夏

6月4日(土) 14:00 開演

■出演者

トリオ・ヴァンダラー [ジャン＝マルク・フィリップ＝ヴァルジャベディアン(ヴァイオリン) ラファエル・ピドゥ(チェロ) ヴァンサン・コック(ピアノ)]

■演奏曲

ブラームス：ピアノ三重奏曲第1番ロ長調 Op.8

チェロ・ソナタ第2番ヘ長調 Op.99

ピアノ三重奏曲第3番ハ短調 Op.101

■チケット料金(全席指定)

S席¥5,000 A席¥4,500 B席¥3,500 ヤング¥1,500(小学生以上、25歳以下)

セット券 S ¥13,500 [第3・4・5回]

■入場者数 331名/販売対象数759(43.6%)

■後援 日本ブラームス協会

■ねらい・振り返り ブラームスの名盤も話題のトリオ・ヴァンダラーによる公演。世界トップクラスの常設トリオによる素晴らしいアンサン



©越間有紀子

ブルに多くの感動の声をいただいた。アンコールでは、本編で演奏したOp.101の初稿版も演奏し、アンコールも含めた選曲も大好評だった。

■来場者の声 雄大で甘美なブラームスに酔いました。／プログラム・演奏共に見事でした。ぜひこうした企画を増やしてください。／三人とも卓越した演奏技術のすばらしいアンサンブル。／「格」の高さを失っていない名演でした。

〈ウィークエンドコンサート〉

室内楽の魅力

ブラームス 第5回～音楽家たちとの友情II

9月25日(日) 14:00 開演

■出演者

小山実稚恵(ピアノ)

アルティ弦楽四重奏団 [豊嶋泰嗣/矢部達哉(ヴァイオリン) 川本嘉子(ヴィオラ) 上村昇(チェロ)]

■演奏曲

ドヴォルザーク: ピアノ五重奏曲イ長調 Op.81

ブラームス: ピアノ五重奏曲へ短調 Op.34

■チケット料金(全席指定)

S席¥5,000 A席¥4,500 B席¥3,500 ヤング¥1,500(小学生以上,25歳以下)

セット券 S ¥13,500 [第3・4・5回]

■入場者数 572名/販売対象数759(75.4%)

■後援 日本ブラームス協会

■ねらい・振り返り 日本を代表するピアニストの小山実稚恵とアルティ弦楽四重奏団による念願の初共演。ソリストとしても名高い各演奏



©大窪道治

者の素晴らしさは勿論、5人あわさった時の更なる素晴らしさは正に「室内楽の魅力」を具現化した名演で、お客さまに大変喜んでいただけました。

■来場者の声 さすが名手でTOPクラスの演奏ですね。至福の時をすごせました。／華麗でとても丁寧な演奏でよかったです。この組合せで、シューマンの五重奏もぜひ！／演奏も息づかいも最高。すべてに満足なコンサートでした。

〈ウィークエンドコンサート〉

室内楽の魅力

モーツァルト 第1回～15周年記念ガラ・コンサート

11月20日(日) 14:00 開演

■出演者

仲道郁代(ピアノ) 佐久間由美子(フルート) 吉野直子(ハープ)

松原勝也/矢部達哉(ヴァイオリン) 川本嘉子/伊藤慧*(ヴィオラ) 横坂源/西山健一*(チェロ)

ウェールズ弦楽四重奏団 [崎谷直人/三原久遠(ヴァイオリン)

横溝耕一(ヴィオラ) 富岡廉太郎(チェロ)]

東混ソリスト(合唱)

*トリトン・アーツ・ネットワーク主催アドヴェントセミナー修了生

■演奏曲

《オール・モーツァルト・プログラム》

ソナタハ長調K14(吉野、佐久間、横坂)

「泉のほとりで」の主題による6つの変奏曲ト短調K360(松原、仲道)

ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲ト長調K423(矢部、川本)

弦楽四重奏曲ハ長調K465「不協和音」より第1・4楽章(ウェールズ弦楽四重奏団)

ピアノ・ソナタハ長調K545(仲道)

ディヴェルティメント変ホ長調K563より第2楽章(松原、伊藤、西山)

アダージョとロンドK617(吉野、佐久間、矢部、川本、横坂)

グラドゥアーレ「天主の御母なる聖マリア」K273(東混ソリスト、ウェールズ)

モテット「アヴェ・ヴェルム・コルプス」K618(東混ソリスト、ウェールズ)

■チケット料金(全席指定)

S席¥6,000 A席¥5,500 B席¥4,500 ヤング¥1,500(小学生以上,25歳以下)

セット券S ¥10,000 [第1・2回]

■入場者数 455名/販売対象数759(59.9%)

■ねらい・振り返り 第一生命ホールの15年の歴史の中で名演奏をご披露頂いた日本を代表する演奏家が集い、華やかなガラ・コンサートを開催した。演奏もさることながら、モーツァルトの生涯をたどる選曲と、ソロ、重奏、合唱とバラエティに富んだ編成が、お客さまに大きな感動を与えていた。



©大窪道治



©大窪道治



©大窪道治

■来場者の声 15周年記念にふさわしいプログラムでした。(モーツァルトの幼少から晩年までの名曲を編成)／こんなに、ぜいたくにモーツァルトを聴く事ができて大満足!!演奏家も曲も大変すばらしい!!15周年ならではのことでしょう。

〈ウィークエンドコンサート〉

室内楽の魅力

モーツァルト 第2回～バボラーク ホルンの室内楽

11月26日(土) 14:00 開演

■出演者

ラデク・バボラーク (ホルン) ダリボル・カルヴァイ/マルティナ・パチョヴァー (ヴァイオリン) カレル・ウンターミューラー (ヴィオラ) ハナ・バボラコヴァ (チェロ) シュテパン・クラトホヴィル (コントラバス)

■演奏曲

W.A. モーツァルト:

ホルン五重奏曲 変ホ長調 K407

ロンド 二長調 K514 (ジュスマイヤーにより完成) ※

ホルン協奏曲第4番 変ホ長調 K495

ホルン協奏曲第2番 変ホ長調 K417

アレグロ 二長調 K412 ※

ホルン協奏曲第3番 変ホ長調 K447

※ホルン協奏曲第1番として (K412 を第1楽章、K514 を第2楽章) 演奏されることが多い。

■チケット料金 (全席指定)

S席¥5,500 A席¥4,500 B席¥3,500 ヤング¥1,500(小学生以上、25歳以下)

セット券 S ¥10,000 (第1・2回)

■入場者数 641名/販売対象数759 (84.5%)

■後援 日本モーツァルト協会



©大窪道治

■ねらい・振り返り 世界最高峰のホルン奏者バボラークによるモーツァルトのホルン協奏曲全曲公演 (当公演では室内楽版を演奏) という、クラシックファン待望の夢企画で、話題を呼び完売。弦楽奏者たちのアンサンブルも非常に美しく、室内楽ならではの極上かつ親密な響きで会場中が幸せな空気に満ちていた。

■来場者の声 バボラークさんのモーツァルトのホルン協奏曲を聴くのが夢でした。あんな演奏を目標にこれからも音楽を続けていきたいです! /バボラーク目当てに来ましたが、弦楽器も大変美しい響きで、ずっと聴いていたかった。

児玉麻里 ベートーヴェン ピアノ・ソナタ選集

〈ウィークエンドコンサート〉

假屋崎省吾と聴く

児玉麻里 ベートーヴェン ピアノ・ソナタ選集 I

7月1日(金) 14:00 開演

■出演者

児玉麻里 (ピアノ) 假屋崎省吾 (トークゲスト)

■演奏曲

ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第14番 嬰ハ短調 Op.27-2「月光」

ピアノ・ソナタ第21番 八長調 Op.53「ワルトシュタイン」

ピアノ・ソナタ第23番 へ短調 Op.57「熱情」

■チケット料金 (全席指定)

一般¥3,800 お友だち割¥3,500 (3枚以上同時購入で1枚あたり)

ヤング¥1,500 (小学生以上、25歳以下)

■入場者数 449名/販売対象数759 (59.2%)



©大窪道治

■ねらい・振り返り 児玉麻里によるベートーヴェンのピアノ・ソナタ選集。クラシックに馴染みが少ない方にも、興味を持って頂けるようよく知られた曲を選曲し、華道家、假屋崎省吾の作品とトークと共に楽しみ頂く公演。いつもとは異なる舞台上の演出など、多くの来場者に新鮮な感動をもたらした。

■来場者の声 舞台のピアノとみどりの木、すがすがしい雰囲気を作り出してくれた事に感謝! /「月光」が始まった途端、聴き慣れている曲なのに、涙があとからあふれてきました。心が浄化されてゆくような思いがいたしました。

〈ウィークエンドコンサート〉

トリトン晴れた海のオーケストラ
第2回演奏会

10月30日(日) 14:00 開演

■出演者

トリトン晴れた海のオーケストラ
矢部達哉(コンサートマスター)
ポール・メイエ(クラリネット)※

■演奏曲

〈オール・モーツァルト・プログラム〉
交響曲第35番 二長調 K385「ハフナー」
クラリネット協奏曲 イ長調 K622※
交響曲第41番 八長調 K 551「ジュピター」



◎上仲正寿



◎上仲正寿

■チケット料金(全席指定)

S席¥6,500 A席¥5,500 B席¥4,500 ヤング¥1,500(小学生以上、25歳以下)

■入場者数 560名/販売対象数706(79.3%)

■ねらい・振り返り 第一生命ホール拠点の室内オーケストラとして昨年誕生した「晴れオケ」第2回公演。ソリスト、ポール・メイエと共に創る親密であたたかい音楽、オーケストラの研ぎ澄まされた繊細なアンサンブル、そして爽快な音楽作りが、好評を得、第3回演奏会への期待が高まった。

■来場者の声 一人一人の音色が素晴らしいのと、それらが自発的自立的なアンサンブルになっているのが奇跡に近い！次回公演を心待ちにしています！／若々しく、エネルギーの美しさを感じた。／迫力ありなおかつ繊細、今までで最高のジュピターでした。

(4) トリトンアーツ共催公演

〈トリトンアーツ共催公演〉 主催：Buzz Five

Buzz Five 20th Anniversary Concert

6月12日(日) 13:30 開演

■出演者

金管五重奏団 Buzz Five [砂川隆丈(ゲスト・トランペット) 小川聡(トランペット) 友田雅美(ホルン) 加藤直明(トロンボーン) 石丸薫恵(テューバ)]

Special Guest 北村源三(トランペット)

■演奏曲

E. イウエイゼン：ウェスタン・ファンファーレ

福田洋介：オアシス

E. イウエイゼン：コルチェスター・ファンタジー

カーマイケル：スターダスト

ベートーヴェン(福田洋介編曲)：ピアノ・ソナタ第23番へ短調 Op.57

「熱情」より第3楽章

プッチーニ(内田祥子編曲)：歌劇「ラ・ボエーム」より ムゼッタのワルツ

カッチーニ(内田祥子編曲)：アヴェ・マリア

福田洋介：月影三章(委嘱作品)

■チケット料金(全席自由)

一般¥3,000 U-25(小学生以上、25歳以下) ¥1,500

■入場者数 133名/販売対象数759(17.5%)



■ねらい・振り返り 自ら選び行動するようになる中学・高校生にもホールに来てもらうために、吹奏楽などの部活動で親しみのある金管楽器の五重奏団 BuzzFive と共催公演を行った。集客数が伸びなかったのが残念だが、複数のアウトリーチと連動し、これまでにない層にアプローチできた。

■来場者の声 音楽や楽器から離れた生活になってしまったけれど、また楽器を始めたくまりました。／はじめてアンサンブルで本気で感動しました。(10代・女性)／伸びやかに音楽を楽しむ気持ちを忘れず頑張ろうと思います。(20代・女性)

〈トリトンアーツ共催公演〉 主催：住友商事株式会社

公演 No. 1

第 63 回住友商事ヤング・シンフォニー
CLASSIC for KIDS 2016 ～ TV・映画の中のオーケストラ～
4月17日（日）15:00 開演

■出演者

山本祐ノ介（指揮とお話）

ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ（管弦楽）

■演奏曲

サン＝サーンス：歌劇「サムソンとデリラ」より「パッカナール」

モーツァルト：交響曲 第 25 番 短調より 第 1 楽章

デュカス：交響的スケルツォ「魔法使いの弟子」

レスピーギ：リュートのための古風な舞曲とアリア 第 3 組曲より（室内楽体験講座受講生による演奏）

R. ロジャース（ベネット編）：「サウンド・オブ・ミュージック」組曲

バーンスタイン：「キャンディード」序曲

J. ウィリアムズ：「スターウォーズ」メインテーマ

※開場時、ロビーにて「室内楽体験講座」受講生による演奏を実施

■チケット料金（全席指定）

一般 ¥1,000 高校生以下（4歳以上） ¥500

■入場者数 629 名 / 販売対象数 706（89.1%）

■ねらい・振り返り 小さなお子さまでも気軽に楽しめるように、4歳



から入場できる公演とし、テレビや映画で使われたオーケストラの曲を取り上げ、多くの人にとって耳馴染みのある、親しみやすい曲が演奏された。公演チケットは完売。

■来場者の声 ジュニアとは思えない迫力ある演奏でした。／知っている曲ばかりでしたが、生演奏だとやはりちがうなと思いました。／若いエネルギーが詰まった迫力ある演奏でした。忘れていた一生懸命さを教えていただいた気持ちです。

〈トリトンアーツ共催公演〉 主催：住友商事株式会社

公演 No. 18

第 64 回住友商事ヤング・シンフォニー ～秋の名曲コンサート～
11月3日（木・祝）15:00 開演

■出演者

齋藤真知亜（指揮とお話）

ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ（管弦楽）

■演奏曲

J.S. バッハ（ニールセン編）：シャコンヌ（弦楽合奏版）

ストラヴィンスキー：バレエ音楽「火の鳥」（1919年版）

W.A. モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジークより（室内楽体験講座受講生による演奏）

レハール：ワルツ「金と銀」

ヨーゼフ・シュトラウス：ワルツ「天体の音楽」

ラヴェル：ボレロ

※開場時、ロビーにて「室内楽体験講座」受講生による演奏を実施

■チケット料金（全席指定）

一般 ¥1,000 高校生以下 ¥500

■入場者数 548 名 / 販売対象数 706（77.6%）

■ねらい・振り返り 良く知られたクラシックの名曲を中心におおく



りするシリーズで、今回はバレエ曲や舞曲をお届けした。春の公演に続いてチケットは完売し、ホール舞台いっぱいに広がる大編成で、青少年らしい迫力の演奏を聴かせた。

■来場者の声 普段オーケストラを見る機会があまり無いので、生演奏の迫力に感動しました。／すてきな演奏を聴けて心が落ち着きました。音楽の力ってすばらしいです！／小さなお子様たちの演奏も素晴らしいかったです。

室内楽体験講座

春と秋に開催する「住友商事ヤングシンフォニー」公演での発表を目標に、弦楽器を学ぶ小・中学生の初・中級者を対象に合奏の楽しさを感じてもらう事を目的として、室内楽体験講座を実施した。

春の講座

■開催時期 2月25日～4月13日までの7日間 各日 18:00～

■課題曲 レスピーギ：リュートのための古風な舞曲とアリア 第3組曲より

秋の講座

■開催時期 9月6日～11月1日までの7日間 各日 18:30～

■課題曲 W.A. モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジークより



〈トリトンアーツ共催公演〉 主催：特定非営利活動法人日本音楽集団

公演 No.19

日本音楽集団 第 219 回定期演奏会

11月19日(土) 14:00 開演

■出演者

日本音楽集団 (和楽器オーケストラ) 稲田康 / 苦米地英一 (指揮)

■演奏曲

「子どものための組曲」

1. 1964年 長澤勝俊 作曲
2. 2015年 篠田大介 作曲
3. 委嘱初演 福嶋頼秀 作曲
4. 委嘱初演 高橋久美子 作曲
5. 委嘱初演 秋岸寛久 作曲

■チケット料金 (全席自由)

一般 ¥4,000 ヤング ¥2,000 (25歳以下)

■入場者数 245名 / 販売対象数 706 (34.7%)

■ねらい・振り返り 長沢勝俊作曲「子どものための組曲」を中心とし、



子どもも楽しめて邦楽の魅力が伝わる曲を現代の作曲家4名がそれぞれ作曲、初演した。アウトリーチ「Meet the 和楽器」実施校の小学生親子を招待し、邦楽アンサンブルの魅力を味わってもらった。

■来場者の声 コンサートホールで音楽を聴くと、音が立体的に伝わってきます。(40代女性) / 学校で体験し、もっと聴いてみたいと思って今日来ました。琵琶や三味線の音も生で演奏を聴くことができ良かったです。(10代女性)

〈トリトンアーツ共催公演〉 主催：一般財団法人合唱音楽振興会

公演 No.8

林光メモリアル

東混 八月のまつり - 東京混声合唱団特別定期演奏会 37

東混創立 60 周年記念連続定期演奏会 -1

8月9日(火) 19:00 開演

■出演者

大谷 研二 (指揮) 斎木ユリ (ピアノ) 東京混声合唱団

■演奏曲

林光 (詩：原民喜)：原爆小景

水ヲ下サイ (1958) / 日ノ暮レチカク (1971) / 夜 (1971) / 永遠のみどり (2001)

新実徳英：混声合唱とピアノのための“祈りの虹” (1984)

炎 (詩：峠三吉) / “業火”より (詩：金子光晴) / Vocalise / ヒロシマにかけける虹 (詩：津田定雄)

林光：宮沢賢治の詩による混声合唱曲集

無声慟哭 (2006-08) 1. 鳥のように栗鼠のように / 2. 二疋の大きな白い鳥が / 3. 蜂が一匹... / 4. きょうのうちに

わたくしという現象は (2006) / 北上川はケイ気をながしィ (2004) / 冬と銀河ステーション (2004)



© 園目幸司

■チケット料金 (全席自由)

一般券 ¥4,500 学生 (大学生以下)・シニア (60歳以上) ¥3,500

■入場者数 363名 / 販売対象数 706 (51.4%)

■ねらい・振り返り 戦争や原爆投下の悲劇を、歌や音楽にのせ抗っていかうという故林光さんのご意思を受け継ぎ毎年、「原爆小景」を定番のプログラムとして演奏している。今回もお客さまそれぞれの記憶に深く留めて頂ける響きをお届けできたように思う。

■来場者の声 平和への祈りを込めた歌声をありがとうございます。 / 原爆小景、毎年違った演奏でいいと思う。大事な事は、毎年声の限り歌う事。 / 原爆小景、改めて胸に響きました。

〈トリトンアーツ共催公演〉 主催：一般財団法人合唱音楽振興会

公演 No.25

東京混声合唱団第 241 回定期演奏会

東混創立 60 周年記念連続定期演奏会 No.4

12月16日(金) 19:00 開演

■出演者

山田和樹 (指揮) 浅井美紀 (オルガン) 東京混声合唱団

■演奏曲

～作曲家の系譜 Vol.1 フランス編～
ホアキン・ロドリゴ：A la chirimivuela (1952) / Yo tinc un burro (1933)

ダリウス・ミヨー (作詞：ポール・クローデル)：戦争カンタータ (1940)

大澤壽人 (オルガン編曲：廣田はる香)：小ミサ曲 (1935) [2016年オルガン編曲版 / 初演]

藤倉大 (作詞：ハリー・ロス)：ざわざわ (委嘱 / 初演)

モーリス・デュリュフレ：レクイエム [オルガン版] (1948)

■チケット料金 (全席自由)

一般 ¥4,500 学生 ¥2,500 (大学生以下)

■入場者数 346名 / 販売対象数 706 (49.0%)



© 園目幸司

■ねらい・振り返り 人気指揮者山田和樹が2014年より音楽監督を務める東京混声合唱団による定期演奏会を共催公演として行った。作曲家の系譜と題し、フランス人作曲家デュカスの弟子たちの作品を取り上げた。藤倉大による新作の初演は新鮮な驚きを与えた。

■来場者の声 山田和樹さんのすみずみまで行き届いた指揮が好きでした。 / 小ミサ曲はとても面白くて、〈ざわざわ〉は更に面白かったです。何を言っているのかわかりませんでしたが、こんな面白い響きがこの世にあるのかと思いました。

■ 2016 年度コミュニティ事業

(実施箇所 / 回数 / 受益者数)

**(1) アウトリーチ**

*アウトリーチセミナー 2016 (P.45) を含む

第一生命ホールを拠点に中央区内および近隣の江東区内の教育機関や病院、福祉施設など普段生の芸術文化に触れる機会が少ない皆さまのところにアーティストと伺い音楽をお届けしています。

- ① 小学校アウトリーチ
 - ア) 4年生はじめてのクラシック／はじめてのクラシック (14箇所 / 14回 / 1,030人)
 - イ) Meet the 和楽器 (4箇所 / 4回 / 392人)
- ② 高等学校でのアウトリーチ (1箇所 / 1回 / 52人)
- ③ 幼稚園・保育園等でのアウトリーチ (6箇所 / 6回 / 844人)
- ④ 介護・福祉施設、病院でのアウトリーチ (5箇所 / 5回 / 437人)
- ⑤ 地域との協力アウトリーチ (1箇所 / 1回 / 77人)
- ⑥ 第一生命保険 マッチングギフトプログラムを利用したアウトリーチ (1箇所 / 1回 / 25人)

**(2) 第一生命ホール
オープンハウス**

(1箇所 / 1回 / 632人)

毎年夏にホールを1日開放して、自由にどなたでも入場することができるホールのお祭りです。普段は入ることのできないバックステージのツアーやホールステージでのコンサート、楽器体験などお子さまから大人までご家族揃って楽しんでいただける内容です。

**(3) ロビーコンサート**

晴海トリトンスクエアや第一生命ホールのロビーなど、開かれたスペースにて、多くの方に音楽を楽しんでいただくことを目的に実施しています。

- ① 晴海トリトンスクエア
グランドロビーコンサート
(1箇所 / 6回 / 1,242人)
(内演奏参加：25人)
- ② 第一生命ホール
ロビーコンサート
(1箇所 / 1回 / 96人)
*アウトリーチセミナー 2016 にて実施

**(4) レクチャー**

第一生命ホールで行っている公演やクラシック音楽をよりいっそう皆さまに広く楽しんでいただくためのレクチャーです。

中央区民カレッジ
(1箇所 / 4回 / 100人)

**(5) その他
コミュニティ活動**

- ① 月島草市
(1箇所 / 1回 / 100人)
- ② 協力企画
(1箇所 / 1回 / 595人)

補助：文化庁「平成 28 年度 劇場・音楽堂等活性化事業」((1) ①～④アウトリーチ、(2) 第一生命ホールオープンハウス、(3) ② 第一生命ホールロビーコンサート、(4) レクチャー)

協賛：晴海トリトンスクエア ((3) ①晴海トリトンスクエアグランドロビーコンサート)

■ 2016 年度コミュニティ事業一覧

コミュ ニティ No.	区分	日程	事業名	実施施設	受益 者数	ボラン ティア数
1	アウトリーチ	4/2 土	第1回おさんぽ応援団 お花見散歩と音楽会	アートはるみギャラリー	77	0
2	ロビーコンサート	5/18 水	晴海トリトンスクエア 夜のグランドロビーコンサート	晴海トリトンスクエア	233 (内演奏参加:25)	5
3	アウトリーチ	6/6 月	高等学校アウトリーチ	東京都立晴海総合高等学校	52	4
4	アウトリーチ	7/5 火	幼稚園アウトリーチ	中央区立日本橋幼稚園	120	2
5	その他コミュニティ活動	7/9 土	月島草市	月島西仲通り	100	3
6	その他コミュニティ活動(協力企画)	7/11 月	中央区立有馬小学校音楽鑑賞会	中央区立有馬小学校	595	0
7	ロビーコンサート	7/13 水	晴海トリトンスクエア 夜のグランドロビーコンサート	晴海トリトンスクエア	173	4
8	オープンハウス	7/23 土	第一生命ホール・オープンハウス 2016	第一生命ホール	632	86
9	アウトリーチ	9/2 金	4年生はじめてのクラシック	中央区立豊海小学校	90	2
10	アウトリーチ	9/6 火	4年生はじめてのクラシック	中央区立久松小学校	94	1
11	アウトリーチ	9/16 金	マイホーム新川アウトリーチ	マイホーム新川	70	2
12	アウトリーチ	9/21 水	幼稚園アウトリーチ	中央区立晴海幼稚園	128	3
13	ロビーコンサート	9/26 月	晴海トリトンスクエア 夜のグランドロビーコンサート	晴海トリトンスクエア	223	5
14	アウトリーチ	10/6 木	4年生はじめてのクラシック	江東区立豊洲北小学校	170	1
15	アウトリーチ	10/13 木	4年生はじめてのクラシック	中央区立月島第三小学校	84	1
16	アウトリーチ	10/18 火	Meet the 和楽器(4年生はじめてのクラシック)	江東区立有明小学校	98	2
17	アウトリーチ	10/20 木	4年生はじめてのクラシック	江東区立豊洲西小学校	44	1
18	アウトリーチ	10/21 金	Meet the 和楽器(はじめてのクラシック)	江東区立第五大島小学校	57	0
19	アウトリーチ	10/26 水	4年生はじめてのクラシック	中央区立泰明小学校	59	2
20	レクチャー	① 10/29 土 ② 11/ 5 土 ③ 11/12 土 ④ 11/26 土	中央区民カレッジ 楽器体験つきで楽しむクラシック音楽講座 ブームスがお好き!(全4回)	①第一生命ホール ②晴海トリトンスクエア ③晴海トリトンスクエア ④第一生命ホール	① 27 ② 22 ③ 23 ④ 28	① 2 ② 0 ③ 1 ④ 0
21	アウトリーチ	11/15 火	こども園アウトリーチ	中央区立晴海こども園	150	1
22	アウトリーチ(協力企画)	11/21 月	文化教養学園アウトリーチ	文化教養学園	117	1
23	アウトリーチ	11/22 火	4年生はじめてのクラシック	中央区立佃島小学校	130	1
24	ロビーコンサート	11/24 木	晴海トリトンスクエア 夜のグランドロビーコンサート	晴海トリトンスクエア	240	4
25	アウトリーチ	12/1 木	品川児童学園クリスマスコンサート	こみゆにていぶらざ八潮	25	0
26	アウトリーチ	12/2 金	Meet the 和楽器(4年生はじめてのクラシック)	中央区立月島第一小学校	59	1
27	アウトリーチ	12/12 月	はじめてのクラシック	中央区立阪本小学校	49	1
28	アウトリーチ	12/15 木	4年生はじめてのクラシック	中央区立日本橋小学校	54	0
29	アウトリーチ	12/16 金	がん研ホスピタルコンサート	がん研有明病院	200	0
30	アウトリーチ	12/19 月 12/20 火	Meet the 和楽器(4年生はじめてのクラシック)	江東区立豊洲小学校	178	2
31	アウトリーチ	12/21 水	リハポート明石アウトリーチ	リハポート明石	80	1
32	ロビーコンサート	2017.1/6 金	晴海トリトンスクエア グランドロビーコンサート	晴海トリトンスクエア	201	7
33	アウトリーチ	2017.1/12 木	幼稚園アウトリーチ	江東区立豊洲幼稚園	219	1
34	アウトリーチ	2017.1/16 月	4年生はじめてのクラシック	中央区立月島第二小学校	83	0
35	アウトリーチ	2017.1/18 水	4年生はじめてのクラシック	中央区立有馬小学校	83	1
36	アウトリーチ	2017.1/26 木	4年生はじめてのクラシック	中央区立明正小学校	41	1
37	アウトリーチ	2017.2/9 木	はじめてのクラシック	中央区立中央小学校	37	0
38	アウトリーチ	2017.2/14 火	4年生はじめてのクラシック	中央区立常盤小学校	12	1
39	アウトリーチ	2017.2/21 火	中央区福祉センターアウトリーチ	中央区福祉センター	42	0
40	アウトリーチ	2017.2/23 木	聖路加国際病院アウトリーチ	トイスラー記念ホール	45	2
41	ロビーコンサート	2017.3/13 月	晴海トリトンスクエア グランドロビーコンサート	晴海トリトンスクエア	172	5
42	アウトリーチ	2017.3/22 水	幼稚園アウトリーチ	中央区立明石幼稚園	110	2
43	ロビーコンサート	2017.3/30 木	第一生命ホールロビーコンサート	第一生命ホールロビー	96	4

計 5,622 163

(内演奏参加:25)

(1) アウトリーチ

① 小学校アウトリーチ

ア) 4年生はじめてのクラシック／はじめてのクラシック

- 目的 抽象的な考え方ができるようになってくる小学4年生の時期に、身近に生演奏に触れてもらい、音楽の楽しさや感動する気持ちを味わってもらおう。また、音楽室という空間で演奏を聴くだけでなく、演奏家とコミュニケーションを取ることによって音楽への好奇心を持ってもらう。

中央区立豊海小学校 4年生はじめてのクラシック

9月2日(金) 60分間(3クラス合同)

コミュニティ No. 9

- 実施場所 音楽室 ■受益者 4年生(3クラス) ■受益者数 90名
- 出演者 TANBRASS(金管五重奏+打楽器)[松木亜希/永井綾子(トランペット) 高橋朋子(ホルン) 佐々木匡史(トロンボーン) 仁藤雄貴(テューバ) 五田詩朗(打楽器)]

■内容 クラシック、ジャズ、ミュージカルなど様々なジャンルの曲をプログラムに入れながら、楽器の仕組みの話などを通して、楽しみながら金管楽器の理解を深めた。また、音楽の先生が出演者と大学の同級生で、トランペットの専門であったことから、「トランペット吹きの日」の演奏で共演し、より親しみを感じてもらった。

■参加者の声 これからはもっとコンサートに行きたいと思いました/管楽器クラブでトランペットをやっているけれど、松木さん永井さんのように高い音を吹けないのがんばって練習したいです/楽器の持ち方やバジングを教えてくださいありがとうございました



©藤本史昭

中央区立久松小学校 4年生はじめてのクラシック

9月6日(火) 60分間(3クラス合同)

コミュニティ No. 10

- 実施場所 体育館 ■受益者 4年生(3クラス) ■受益者数 94名
- 出演者 Buzz Five(金管五重奏)[上田じん/佐藤友紀(トランペット) 友田雅美(ホルン) 加藤直明(トロンボーン) 石丸薫恵(テューバ)]

■内容 高学年はブラスバンド部の活動も盛んな学校で、金管楽器により親しみ興味を持ってもらうことをねらいとして実施。金管楽器の音の出る仕組みや、各楽器の特徴や音色の紹介の他にも、「星条旗よ永遠なれ」を一人ずつバラバラに演奏した後に五重奏で演奏することで、各楽器の役割やアンサンブルの仕組み、楽しさを味わってもらった。

■参加者の声 楽器1つひとつの音もきれいだけど、トランペット、ホルン、テューバ、トロンボーンの4つの楽器が集まってさらにきれいな音になるんだ、と思いました。/全ての楽器が必要という事が分かりました。/今までよりも音楽が好きになりました。



江東区立豊洲北小学校 4年生はじめてのクラシック

10月6日(木) 45分間×2回(3クラス、2クラスずつ合同)

コミュニティ No. 14

- 実施場所 体育館 ■受益者 4年生(5クラス) ■受益者数 170名
- 出演者 TANBRASS(金管五重奏+打楽器)[高山航太/永井綾子(トランペット) 高橋朋子(ホルン) 佐々木匡史(トロンボーン) 仁藤雄貴(テューバ) 五田詩朗(打楽器)]

■内容 クラシック、ジャズ、ミュージカルなど様々なジャンルの曲をプログラムに入れながら、楽器の仕組みの話などを通して、楽しみながら金管楽器の理解を深めた。また、校歌を編曲し、TANBRASSの伴奏で歌ってもらった。歌詞の中に掛け声と共に飛び上がる部分があり、金管の音色と相まってとても盛り上がった。

■参加者の声 ゆっくりした音楽の時はうっとりきいて、はやい曲はウキウキきくことができました/楽器のなまえやゆらいや音を知ったのでとてもよかったです/音楽は人を感動させられるときづきました



中央区立月島第三小学校 4年生はじめてのクラシック

10月13日(木) 45分間×2回

■実施場所 第2音楽室 ■受益者 4年生(2クラス) ■受益者数 84名
 ■出演者 TANBRASS(金管五重奏+打楽器)[津守祥三/永井綾子(トランペット)
 高橋朋子(ホルン) 小篠亮介(トロンボーン) 岩澤佳祐(チューバ) 五田詩朗(打楽器)]

■内容 古い時代の曲から順に演奏しながら金管楽器と打楽器を紹介していく内容で、ヘンデルの「水上の音楽」に始まり、アンコールでは2016年11月の小学校音楽会で児童達が演奏するというドラゴンクエストの曲を演奏。自分たちが演奏する曲も含めて様々な曲を聴いてもらうことで、金管楽器に親しみを感じてもらった。

■参加者の声 私の音楽会でも今日のことを思い出して楽しくやれたらいいと思います
 /音楽って自由だなぁと思いました/ドラゴンクエストはとてべんきょうになりました



江東区立豊洲西小学校 4年生はじめてのクラシック(アウトリーチセミナー2016)

10月20日(木) 45分間×2回

■実施場所 音楽室 ■受益者 4年生(2クラス) ■受益者数 44名
 ■出演者 松原勝也/大庭絃子(ヴァイオリン) 市川友佳子(ヴィオラ) 松本亜優(チェロ)

■内容 「アウトリーチセミナー2016」講師と受講生によるアウトリーチを実施した。「音楽を聴いて様々な風景や気持ちが心に浮かんできたら、人それぞれに違っていても、それを大切に聴いて欲しい」ということを伝えるために、スメタナの弦楽四重奏曲「わが生涯より」の1楽章を演奏し、演奏者が思い描いた絵や写真を見せながら演奏を聴いてもらった。

■参加者の声 「わが生涯」を聞いて、かなしい女の子や静かな草原などのイメージがわきました。/自分がおどっているように想像しました。悲しいことやうれしいことを表現しておどっていました。/1つの音楽でも色々な楽しみ方ができると分かった。



©藤本史昭



©藤本史昭



©藤本史昭

中央区立泰明小学校 4年生はじめてのクラシック

10月26日(水) 45分間×2回

■実施場所 音楽室 ■受益者 4年生(2クラス) ■受益者数 59名
 ■出演者 浜まゆみ(マリンバ) 小林拓史(打楽器)

■内容 授業で音楽の創作体験を行っているとき、音楽から多様な想像を膨らませてもらうプログラムを実施。即興・創作の基本であるコール&レスポンスで共演したり、ボディパーカッションでは体も楽器になることを紹介。「レインダンス」では、様々な打楽器や奏法で何が表現されているのかイメージしながら聴いてもらった。

■参加者の声 一番心に残ったのはレインダンスです。雨の音だけでも色々な音があることがわかりました。/楽器であそこまで音や気持ち、言葉を伝えられるなんてほんとすごいです。/楽器だけでなく自分の体でも音楽を作れたのでびっくりしました。



中央区立佃島小学校 4年生はじめてのクラシック

11月22日(火) 45分間×4回

コミュニティ No.23

■実施場所 クラブハウス ■受益者 4年生(4クラス) ■受益者数 130名

■出演者 浜まゆみ/金丸寛(マリンバ)

■内容 「熊蜂の飛行」「剣の舞」等、マリンバ2台による躍動感溢れる迫力ある演奏に、児童は大喜びで、非常に盛り上がった。マリンバの鍵盤に触れてもらい振動を感じてもらった。体験コーナーでは、楽器の構造や音が出る仕組みも紹介し、楽器への興味関心も深めてもらった。

■参加者の声 マリンバは木なのにあんなにひびくなんてすごいと思いました。/音で会話できることを知り、家族でもやってみようと思いました。/浜さんと金丸さんの息があつていて、手もとをみないで相手を見ながらえんそうしていておどろきました。



中央区立阪本小学校 はじめてのクラシック

12月12日(月) 45分間×2回

コミュニティ No.27

■実施場所 音楽室 ■受益者 4,5年生(各1クラス) ■受益者数 49名

■出演者 浜まゆみ/金丸寛(マリンバ)

■内容 「道化師のギャロップ」「カルメン前奏曲」等、耳馴染みがあるがタイトルは知らないであろう曲を聴いてもらい、どんなタイトルなのか、何を表しているのかを想像しながら聴いてもらった。マリンバの構造や音の出る仕組みも、マリンバに触る振動体験とともに紹介した。

■参加者の声 演奏しているときにばちとばちの間かくを広くしたりせまくしたり細かい音の調整をしていますすごいと思った。/きいたことがある音楽もマリンバで演奏するのではちがう音楽をきいているように感じて、時間がたつのがとてもはやかったです。



中央区立日本橋小学校 4年生はじめてのクラシック

12月15日(木) 45分間×2回

コミュニティ No.28

■実施場所 音楽室 ■受益者 4年生(2クラス) ■受益者数 54名

■出演者 江崎浩司(リコーダー) 伊藤一人(ピアノ)

■内容 バロックオーボエや、ピッコロ、ソプラノ、アルト、バスリコーダーまで、たくさんの楽器の音色を聴いてもらった。児童が音楽の授業でも演奏しているリコーダーだが、超絶技巧や音色の美しさなど身近な楽器の幅広い魅力を伝えるアウトリーチになった。最後には児童と一緒にリコーダーで「きよこの夜」で共演をした。

■参加者の声 リコーダーだけであんな音色を響かせられるなんて、とてもすごいと思いました。/難しそうなのに手が次々と動いてすごいなと思いました。/リコーダーは苦手だったけれど、がんばってうまくなりたいです。/前よりも音楽が好きになりました。



中央区立月島第二小学校 4年生はじめてのクラシック

2017年1月16日(月) 45分間×3回

コミュニティ No.34

■実施場所 第2音楽室 ■受益者 4年生(3クラス) ■受益者数 83名

■出演者 浜まゆみ/金丸寛(マリンバ)

■内容 今後合奏で木琴を使う予定とのことで、児童が木琴を演奏する上でのヒントになるようなプログラムを実施。「ボレロ」でマレットの固さで音色が変化することを聴いてもらったり、「道化師のギャロップ」では学校の木琴を演奏したりした。児童達は一度にたくさんのマレットを持って演奏出来ることに驚き、熱心に質問していた。

■参加者の声 マレットを変えるだけでいろいろな音色をかなでられるのがすごいと思いました。/音楽と仲良く遊んでいるような、トムとジェリーのような演奏ですてきでした。私も練習すれば心を込めてきれいな音が出せるかなと、勇気を持ってました。



中央区立有馬小学校 4年生はじめてのクラシック

2017年1月18日(水) 45分間×3回

■実施場所 音楽室 ■受益者 4年生(3クラス) ■受益者数 83名

■出演者 中川賢一(ピアノ)

■内容 部屋を暗くして思い思いの場所で演奏を聞いたり、ピアノの内部構造を目で見たり、弦や響板に触れ振動を感じたりとピアノの仕組みや響き、音色を全身で感じてもらった。音楽を聴くための手がかりとなるお話と、様々な体験を経て、最後にはムソルグスキー「展覧会の絵」より「キエフの大門」を集中して聴いてもらった。

■参加者の声 「月の光」の時、目を閉じて月の映る池を想像したら不思議とピアノを聞くのが楽しくなったのでびっくりした。／自由になった気がする。／弦を触ると思ったよりブルブルきてびっくりした。／最後の曲がきれいで絵がたくさん浮かぶイメージだった。



中央区立明正小学校 4年生はじめてのクラシック

2017年1月26日(木) 60分間(2クラス合同)

■実施場所 音楽室 ■受益者 4年生(2クラス) ■受益者数 41名

■出演者 出演者 TANBRASS(金管五重奏+打楽器)[高山航太/松木亜希(トランペット) 高橋朋子(ホルン) 佐々木匡史(トロンボーン) 仁藤雄貴(チューバ) 五田詩朗(打楽器)]

■内容 6年生になると全員が金管楽器を経験するため、プロの金管アンサンブルを聴いてもらいたいとTANBRASSのアウトリーチを実施。音楽の授業で児童達へ配られたマウスピースも使って演奏に参加してもらい、楽しみながら金管楽器の仕組みなどについて理解を深めた。

■参加者の声 チューバが10kgもあることが一番びっくりしました/ちいさい楽器は高い音がでて、おおきい楽器は低い音がでるといふことをはじめて知りました/中学校や大人になった時、音楽関係の仕事や部活に入りたいと思いました



中央区立中央小学校 はじめてのクラシック(アウトリーチセミナー2016)

2017年2月9日(木) 45分間×2回

■実施場所 音楽室 ■受益者 4,5年生(各1クラス) ■受益者数 37名

■出演者 松原勝也/大庭絃子(ヴァイオリン) 市川友佳子(ヴィオラ) 松本亜優(チェロ)

■内容 「アウトリーチセミナー2016」講師と受講生によるアウトリーチ。スマタナの「わが生涯より」について演奏者ひとりひとりがイメージした絵や写真を見せ演奏を聴いてもらった。さらに5年生には、音楽を聴いて感じたイメージを絵に描いてもらった。人それぞれに違っていても心に浮かんだものを大切に音楽を聴いて欲しいというメッセージを伝えた。

■参加者の声 目を閉じて聞いてみると、頭の中にふわっと想像が広がり、聞いているうちに心が盛り上がってきて、涙が出そうになりました。感動とはこういうことなんだと思いました。／絵を見ながら音楽を聞いていると、音が変わって聞こえるので不思議でした。



中央区立常盤小学校 4年生はじめてのクラシック

2017年2月14日(火) ワークショップ45分間+発表と鑑賞45分間

■実施場所 音楽室 ■受益者 4年生(1クラス) ■受益者数 12名

■出演者 柁屋五司郎/日吉静永(三味線) 内田ゆう子(ピアノ) 盧慶順(打楽器)

■内容 3時間目は一人一棹ずつ三味線を持ち、構え方から教わり、「さくら」の冒頭が演奏できるところまで体験した。4時間目は古典的な長唄三味線の演奏や長澤勝俊作曲「三味線協奏曲」(三味線、ピアノ、打楽器)の演奏を聴いてもらった。自分でも楽器を演奏し、さらにその後に演奏を聴くことで、より邦楽の響きに親しんでもらった。

■参加者の声 初めて三味線をやったのでとても難しかった。プロの先生の演奏は、弦を押さえる手の動きと、バチをもって糸をはじく手の動きが速くて驚いた。／以前に歌舞伎を見た時に流れてきた音楽は、三味線や太鼓を使っていたのだと気づきました。



イ) Meet the 和楽器 (4年生はじめてのクラシック)

- **目的** 日本伝統の楽器や楽譜に触れ邦楽に親しみを持ってもらう。箏の体験後に箏と尺八のコンサートを鑑賞することによって、楽器への興味関心をひき出し、プロの演奏家の技術と芸術性の高さを実感してもらう。
- **内容** 箏体験(45分間、1クラスごと)と、箏と尺八によるミニコンサート(45分間、全クラス合同)。体験はペアになり、お互い協力しながらリレー形式で「さくらさくら」を演奏体験。楽器演奏の難しさと楽しさを体験後に、コンサートを鑑賞してもらった。

江東区立有明小学校

コミュニティ No. 16

Meet the 和楽器 (4年生はじめてのクラシック)

10月18日(火) 45分間×3回(1クラスごと体験)、45分間(3クラス合同鑑賞)

- **実施場所** ランチルーム ■ **受益者** 4年生(3クラス) ■ **受益者数** 98名
- **出演者** 米澤浩(尺八) 熊沢栄利子(箏)

■ **参加者の声** 日本の楽器や伝とうを調べて日本の事をもっと知りたくなりました。／ぼくはコンサートを見てこんなにおことができる人がいるんだなーと思いました。1日じゅうみたいと思ったぐらいです。すごくきれいなコンサートありがとうございます。



江東区立第五大島小学校

コミュニティ No. 18

Meet the 和楽器 (はじめてのクラシック)

10月21日(金) 45分間×2回(1クラスごと体験)、45分間(2クラス合同鑑賞)

- **実施場所** 多目的室 ■ **受益者** 5年生(2クラス) ■ **受益者数** 57名
- **出演者** 米澤浩(尺八) 熊沢栄利子(箏)

■ **参加者の声** ただけんをはじめているだけでかんたんそうなのに、弾いてみるとむずかしかったのでびっくりしました。先生たちは色々な曲を弾いていてすごいいいと思いました。／春の海はすごくはやくよかったところがあったのにあわせてすごいいいと思いました。



中央区立月島第一小学校

コミュニティ No. 26

Meet the 和楽器 (4年生はじめてのクラシック)

12月2日(金) 45分間×2回(1クラスごと体験)、45分間(2クラス合同鑑賞)

- **実施場所** 視聴覚室 ■ **受益者** 4年生(2クラス) ■ **受益者数** 59名
- **出演者** 米澤浩(尺八) 熊沢栄利子(箏)

■ **参加者の声** すごくきれいな音楽で、すごくれんしゅうをかさねたと思いました。／体験の時、むずかしいところもあったけど上手にできてうれしかった。コンサートの時、きれいな音ですごいいいと思った。／鹿の遠音が鹿がお話しているようきれいでした。



江東区立豊洲小学校

コミュニティ No. 30

Meet the 和楽器 (4年生はじめてのクラシック)

12月19日(月)・20日(火)

45分間×5回(1クラスごと体験)、45分間(5クラス合同鑑賞)

- **実施場所** 体育館 ■ **受益者** 4年生(5クラス) ■ **受益者数** 178名
- **出演者** 米澤浩(尺八) 熊沢栄利子(箏)

■ **参加者の声** コンサートで説明してくれたので、音楽をききながら想像することができて、音楽が好きになりました。／ことが好きになりました。なぜならとてもむずかしいけれど、良い音がでるとだんだん楽しくなっていくからです。



■ 小学校アウトリーチ実施後のアンケート

◎ 児童用アンケート集計結果（18校）

回答者数：1,293人（人）

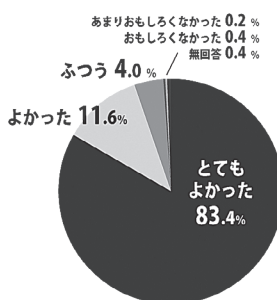
1. 今日のコンサートはどうでしたか？		
とてもよかった	1,078	83.4%
よかった	150	11.6%
ふつう	52	4.0%
あまりおもしろくなかった	3	0.2%
おもしろくなかった	5	0.4%
無回答	5	0.4%

2. コンサートを聞いて、今までより音楽が好きになりましたか？		
とても好きになった	642	49.7%
好きになった	466	36.0%
どちらともいえない	151	11.7%
好きにならなかった	12	0.9%
まったく好きにならなかった	17	1.3%
無回答	5	0.4%

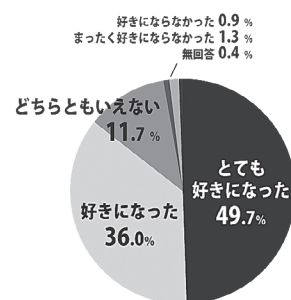
3. もっとコンサートに行ってみたくて思いましたか？		
とても思った	618	47.8%
すこし思った	452	35.0%
どちらともいえない	141	10.9%
あまり思わなかった	43	3.3%
まったく思わなかった	32	2.5%
無回答	7	0.5%

4. 晴海トリトンスクエアの中にあるコンサートホール（第一生命ホール）に行ったことがありますか？		
ある	245	18.9%
ない	653	50.5%
わからない	388	30.0%
無回答	7	0.5%

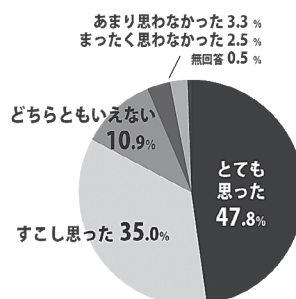
1. 今日のコンサートはどうでしたか？



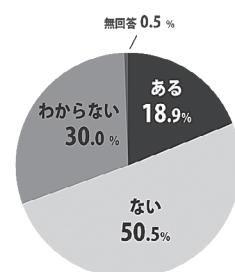
2. コンサートを聞いて、今までより音楽が好きになりましたか？



3. もっとコンサートに行ってみたくて思いましたか？



4. 第一生命ホールに行ったことがありますか？



◎ 音楽教諭へのアンケート 抜粋

1. アウトリーチコンサートの内容はいかがでしたか？

- 演奏の素晴らしさはもちろん、演奏者の楽しいお話も良かったと思います。体験型（楽器に触れる、手拍子など）のコーナーが子どもたちの興味、関心を高め、とても良いと思いました。
- 色々なジャンルの音楽を聴けて、バズィングで合奏にも参加できとても良かったです。普段CDでしか聴いたことのない音楽の、迫力のある生演奏が大満足だったようです。
- とても楽しい進行で、演奏が素晴らしかった。
- 音楽を聴いて、絵でイメージを表すことが良かったです。人によってイメージをもつことは自由であり、そして作曲者の思いもあることがよく分かりました。実際に子どもたちが絵や色で表すことは新しい事で、とても良かったです。昨年に続いて音楽の聴き方を違うアプローチから迫っていただき大変よかったですと感じています。
- 一つの楽曲を、聴く視点を変え、何度も聴かせていただき、細部まで深く鑑賞できたことがとても良かったです。子どもたちは重なり合い変化する音、音楽ともに、イメージをふくらませて鑑賞し、弦楽四重奏の響きに感動していました。
- 「様子をあらす音」や「コール&レスポンス」等、音楽学習につながるのある内容を組み込んでいただきありがとうございました。

2. 日程調整、打ち合わせなどの準備段階はスムーズでしたか？

- スムーズでした。（15校）
- どのように鑑賞するか、何度もご相談させていただきました。学校の授業でやっている「エーデルワイス」も聴かせていただき、アレンジの違いが、とても新鮮で良かったです。
- こちらが忙しくじっくり相談できず申し訳なかったです。

3. 問題点や改善すべき点などございましたらお書きください。

- とくにありません。（14校）
- 内容が充実しているので、45分間には収まりきらずチャイムが音楽に重なってしまい残念でした。今後学級数が増えた場合は、40分の内容で時間内にできると有り難いです。
- 子どもたちの知っているポピュラーな曲が1曲あってもよかったです。
- 体験はもう少しゆっくり指導していただきたかったです。
- 子どもたちが打楽器の名前を知りたがっていました。プログラムに載っていると思います。

4. 音楽アウトリーチについて、ご意見やご希望がありましたらお書きください。

- 生演奏は子どもにとっても非常に感動が多く、このアウトリーチでは流行の音楽で子どもをひきつけるのではなく、響きのよさ、聴き方を学びながらクラシック音楽を味わうことができると感じています。学校教育の中における意義は大きいと思います。
- 学校に足を運んでいただき、プロの演奏家の方々に直接、音楽を届けてもらえることが、とてもありがたく貴重な体験をさせていただけると感じています。息づかいや、その場の空気感も含め、多くのことを感じ取らせていただきました。子どもたちは、より楽器や音楽に興味をもてたようです。

< Meet the 和楽器について >

- 学習の要素がたくさんあり、子どもたちも真剣に取り組んでいました。
- 毎年感じますが、1時間であれだけのことが体験でき、子どもたちにとって日本音楽に触れる貴重な機会となっています。

② 高等学校でのアウトリーチ

- 目的 高校生に生の音楽の素晴らしさやアンサンブルの面白さを伝え、演奏家の音楽に対する姿勢や想いを学びとってもらおう。

東京都立晴海総合高等学校吹奏楽部アウトリーチ

コミュニティ No. 3

6月6日(月) 60分間

■実施場所 国際関係実習室 ■受益者 吹奏学部員と、音楽関連の授業を選択している生徒の中から希望者

■受益者数 52名

■出演者 Buzz Five (金管五重奏) [砂川隆丈 (ゲスト・トランペット) 小川聡 (トランペット) 友田雅美 (ホルン) 加藤直明 (トロンボーン) 石丸薫恵 (テューバ)]

■内容 E.イウエイゼン「コルチェスターファンタジー」など金管五重奏曲の他に、テューバのソロ曲を聴いてもらった。またトランペットの小川聡が作曲した「好きです、トリトン！」を事前に練習して来てもらい、各々の楽器で合同合奏をした。終了後も、1時間ほど奏法に関する日頃の悩みから進路のことまで、個別に相談を受け交流をした。

■参加者の声 テューバであんな高音できれいな音が出るんだととても感動しました。またそれぞれの楽器の音が重なると、本当に感動ものだなと感じました。音色やハーモニー、アンブシュアなど多くのことを学べたのでこれから練習に活かしていきたいです。



③ 幼稚園・保育園等でのアウトリーチ

- 目的 自由な感性を持つ乳幼児に、本物の音に身近に接し、音楽の楽しさを感じてもらおう。また、室内楽アウトリーチセミナー修了生が、感情をダイレクトに表現する乳幼児を対象とした場を経験する事により、修了生の技術のブラッシュアップの機会とする。

中央区立日本橋幼稚園アウトリーチ

コミュニティ No. 4

7月5日(火) 年少(20分間) / 年中(30分間) / 年長(30分間)

■実施場所 遊戯室 ■受益者 年少～年長 ■受益者数 120名

■出演者 Quartet MIYABI [前田奈緒 / 北見春菜 (ヴァイオリン) 高橋梓 (ヴィオラ) 印田陽介 (チェロ)]

■内容 動物をテーマにした選曲で、「カエルの歌」を演奏家オリジナルの紙芝居を使って、弦楽四重奏の仕組みをわかりやすく解説。他に、「フルツィング・キャット」や、ハイドンの弦楽四重奏曲「蛙」の演奏の中から鳴き声を探してみようなど、演奏に注意を促すような工夫もあった。園で日常的に歌っている選曲では、子どもたちも歌で参加した。

■参加者の声 毎年、生の演奏を身近に聴くことができ、貴重な体験になっています。リクエストの「たなばたさま」や園歌と一緒に歌う事ができて嬉しいです。(先生の声)



中央区立晴海幼稚園アウトリーチ

コミュニティ No. 12

9月21日(水) 年少・年中(25分間) / 年長(30分間)

■実施場所 遊戯室 ■受益者 年少～年長 ■受益者数 128名

■出演者 Quartet MIYABI [前田奈緒 / 北見春菜 (ヴァイオリン) 高橋梓 (ヴィオラ) 印田陽介 (チェロ)]

■内容 アウトリーチセミナー修了生2名を含む Quartet MIYABI が出演。動物の鳴き声が出てくる曲や、ハイドンの弦楽四重奏曲「蛙」など児童にも親しみやすい題材で、楽器の音色を知ってもらい演奏を聴いてもらった。またリクエストのあった童謡を通して弦楽四重奏の仕組みを知ってもらった後、子どもたちにも合唱で参加してもらった。

■参加者の声 児童と一緒に歌うことになっていたリクエスト曲について、まずはチェロだけ演奏し、ヴァイオリン、第2ヴァイオリン、第1ヴァイオリンと順に音を重ねていくと、みんなの知っている曲になるという弦楽四重奏の仕組みの説明が、児童にも保護者にもとても面白く伝わっていました。(先生の声)



中央区立晴海こども園アウトリーチ

コミュニティ No.21

11月15日(火) 0～2歳(15分間) / 3歳(20分間) / 4～5歳(30分間)

■実施場所 遊戯室 ■受益者 0～5歳児 ■受益者数 150名

■出演者 Quartet MIYABI [前田奈緒/北見春菜(ヴァイオリン) 高橋梓(ヴィオラ) 印田陽介(チェロ)]

■内容 アウトリーチセミナー修了生2名を含む Quartet MIYABI が出演。園からリクエストのあった秋の歌を高橋梓が編曲した「秋の歌メドレー」や、ピチカートが多用された曲の他に、動物の鳴き声が出てくる曲、ハイドンの弦楽四重奏曲「蛙」など子どもたちにも親しみやすい題材で、楽器の音色に親しみ演奏を聴いてもらった。

■参加者の声 「秋の歌メドレー」は、普段から子どもたちと歌って親しんでいる曲が多く、特に心に染み入るものがあった。普段はなかなか聴けない弦楽四重奏の演奏を、子どもたちが間近に聴くことができる貴重な機会として毎年楽しみにしている。(先生の声)



〈協力企画〉

文化教養学園アウトリーチ(アウトリーチセミナー2016)

コミュニティ No.22

11月21日(月) 0～2歳(25分間) / 3～5歳(40分間)

■実施場所 2階保育室(0～2歳) 1階ホール(3～5歳)

■受益者 0～5歳児 ■受益者数 117名

■出演者 松原勝也/大庭絃子(ヴァイオリン) 市川友佳子(ヴィオラ) 松本亜優(チェロ)

■内容 「アウトリーチセミナー2016」講師と受講生によるアウトリーチを実施。0～2歳はとても近い距離で演奏される弦楽四重奏曲に、興味を持ってじっと聴き入っていた。全員が園でヴァイオリンを習っている3歳～5歳は、自由に体を動かして聴いてもいいよと伝え、音楽をよく聴いて体を動かしていた。最後に5歳児とヴァイオリンで共演した。

■参加者の声 自分たちもヴァイオリンを演奏しているので、音楽に興味・関心を持っている子が多く、プロの演奏に触れるいい機会になっています。(先生の声)



江東区立豊洲幼稚園アウトリーチ

コミュニティ No.33

2017年1月12日(木) 4歳(20分間×1回、3クラス合同) / 5歳(20分間×2回、2クラスずつ)

■実施場所 ホール ■受益者 4～5歳児 ■受益者数 219名

■出演者 中井智弥(二十五絃箏) 堀米綾(ハープ)

■内容 古典的な十三絃の箏より発展した二十五絃箏と、アイリッシュハーブの演奏。箏は「さくら」、ハーブは「ダニーボーイ」で、それぞれの楽器を紹介し、箏とハーブのデュオも聴いてもらった。リクエスト曲と園歌と一緒に歌って参加してもらった後には楽器を間近に見てもらい、楽器の大きさや弦の色などをじっくりと観察してもらった。

■参加者の声 2020年オリンピック・パラリンピックに向け日本の楽器「箏」と、外国の楽器「ハーブ」のどちらも知ることができる機会になった。違う国で作られた楽器だけでも一緒に演奏するととても似ていて音色も合うことが分かった。(先生の声)



中央区立明石幼稚園アウトリーチ

コミュニティ No.42

2017年3月22日(水) 年少(20分間) / 年中(30分間) / 年長(30分間)

■実施場所 遊戯室 ■受益者 年少～年長 ■受益者数 110名

■出演者 中井智弥(二十五絃箏)

■内容 当初1月に実施予定だったが、インフルエンザ流行により、3月に延期して実施。二十五絃箏で中井智弥オリジナルの曲の演奏を聴いてもらったほか、古典的な十三絃の箏も紹介し、子どもたちには爪をつけて、弦の上で爪を滑らせて音を出す体験をもらった。最後には箏の伴奏で、園歌を歌ってもらい交流をし、箏の音色に親しんでもらった。

■参加者の声 関係者の方からいただいたお箏が園にあり、子どもたちは遊びながら爪弾いたり音を出したりしている。今回はその楽器の演奏を聴いて、さらに箏を身近に感じて、楽器や音楽への興味が増したと思います。(先生の声)



④ 介護・福祉施設、病院でのアウトリーチ

- 目的 コンサートホールまで足を運ぶことが難しい高齢の方や、施設で働く職員の方、入院、通院中の患者様やそのご家族に、生の音楽をお届けし、非日常の楽しみを味わっていただく。

マイホーム新川アウトリーチ 特別養護老人ホームアウトリーチ

9月16日(金) 通所者(40分間)、入居者(30分間)

コミュニティ No. 11

■実施場所 通所者：2階食堂 入居者：3階食堂 ■受益者 入居者、通所者

■受益者数 70名

■出演者 大森智子(ソプラノ) 高江州愛(ハーブ)

■内容 「アヴェ・マリア」等のクラシックの名曲から日本の歌まで、温かな歌声とハーブの優しい音色による美しい生演奏をお届けした。サウルハーブという小さなハーブを対象者の方々に触っていただいたコーナーも好評だった。

■参加者の声 きれいな音楽に癒されました。珍しい楽器に、皆さん興味深々でした。またよろしく願います。(施設方の声)



リハポート明石アウトリーチ 介護老人保健施設アウトリーチ

12月21日(水) 40分間

コミュニティ No. 31

■実施場所 3階食堂 ■受益者 入居者、通所者 ■受益者数 80名

■出演者 TANBRASS(金管五重奏+打楽器) [高山航太/永井綾子(トランペット) 高橋朋子(ホルン) 佐々木匡史(トロンボーン) 仁藤雄貴(チューバ) 五田詩朗(打楽器)]

■内容 ロッシーニの「ウィリアムテル序曲」に始まり、クリスマスソングやビートルズナンバー、「川の流れるように」などバラエティ豊かなプログラムで、生の楽器演奏を楽しんでいただいた。演奏中、施設スタッフの方々がサンタ帽子をかぶり、手拍子などで盛り上げていただいた。

■参加者の声 色々懐かしい曲を聴かせてくれてありがとうございました/感動しました、良かったです。ぜひまた来てほしいです。



がん研ホスピタルコンサート

12月16日(金) 40分間

コミュニティ No. 29

■実施場所 がん研有明病院 1階 ホスピタルストリート

■受益者 がん治療を受けている患者さまやそのご家族 ■受益者数 200名

■出演者 中井智弥(二十五絃箏)

■内容 J.S.バッハから賛美歌、中井智弥オリジナル曲まで、二十五絃箏の演奏で聴いてもらった。また、お座敷唄コーナーでは、中井智弥が三味線を演奏しながら小唄をうたい、患者さんにも一緒に参加してもらった。よくご存知の曲では一緒に口ずさんだり、演奏を聴いて涙ぐまれる患者さんもうらっしゃった。

■参加者の声 「病院のロビーにいなから、コンサートホールに来たようで楽しかったです。」と嬉しそうにお話くださる患者さんがいらちゃって、患者さんや付き添いのご家族にとって大変心温まるコンサートになりました。(ご担当者より)



写真提供：がん研有明病院

聖路加国際病院アウトリーチ(アウトリーチセミナー2016)

2017年2月23日(木) 40分間

コミュニティ No. 40

■実施場所 トイスラー記念ホール

■受益者 入院、来院患者さまとご家族 ■受益者数 45名

■出演者 松原勝也/大庭絃子(ヴァイオリン)、市川友佳子(ヴィオラ)、松本亜優(チェロ)

■内容 「アウトリーチセミナー2016」講師と受講生によるアウトリーチを実施。スメタナの弦楽四重奏曲第1番 短調「わが生涯より」と、ヴィオラの市川友佳子が編曲した日本の童謡メドレー(ふるさと、春の小川、海、もみじ、雪)をお届けした。コンサートホールにはなかなか出掛けられない方に、身近に生の音楽に触れて楽しんでいただいた。

■参加者の声 診察を受け少し心が塞いでいましたが、久しぶりに美しい音を聞いて元気をいただきました。/40分間で様々な景色を思い浮かべ旅ができました。/手術のためコンサートに行けていませんでしたが、生の音を久しぶりに聴けてよかったです。



中央区福祉センターアウトリーチ
トリトンアーツ音楽隊による親子で楽しむコンサート
2017年2月21日(火) 1～2歳親子(20分間) / 3～5歳親子(30分間)

コミュニティ No.39

- 実施場所 中央区福祉センター幼児室 ■受益者数 42名
- 受益者 発達障害支援の幼児室を利用する未就学児と保護者
- 出演者 中川直子(ヴァイオリン) 海老澤洋三(チェロ) 高橋朋子(ホルン)
五田詩朗(打楽器)

■内容 「ゆき」「どんぐりころころ」などよく知っている曲から、チャイコフスキーの「花のワルツ」などのクラシックの曲までを、「ロビーでよちよちコンサート」出演の演奏家がおおくりした。楽しそうに踊りながら聴いた子もいて、思い思いに楽しんでくれた様子。アンダーソンの「そりすべり」では、曲に合わせて鈴を鳴らして合奏を楽しんだ。

■参加者の声 保護者の方へのアンケートも「ホールで行われる子ども向けコンサートには、なかなか行けないが、目の前で優しくお話をしながら楽しい演奏をしてもらえて、周りに気兼ねすることなく楽しめた」など大変好評で、ぜひ継続してほしい。(ご担当者より)



⑤ 地域との協力アウトリーチ

- 目的 高齢者に外出の機会の提案や散歩などの支援を行う市民団体「おさんぽ応援団」との共催で、晴海地区の特別養護老人ホーム利用者に桜並木を眺めながらのお散歩と音楽会を楽しんでいただくことを目的に開催。

第1回おさんぽ応援団 お花見散歩と音楽会
4月2日(土) 50分間

コミュニティ No.1

- 実施場所 アートはるみギャラリー ■受益者 晴海苑、マイホーム晴海等の利用者
- 受益者数 77名
- 出演者 浜まゆみ/金丸寛(マリンバ)
- 内容 「川の流れるように」などの来場者が懐かしく感じる曲や「さくら」にちなんだ曲などが多く演奏され、たくさんの笑顔が見られた。終演後には希望者に対して、マレットで鍵盤を叩いて演奏を体験していただいた。
- 参加者の声 楽器の音の振動が床を伝わって身体でも感じられ、生演奏の素晴らしさに感激しました。



⑥ 第一生命保険 マッチングギフトプログラム を利用したアウトリーチ

- 目的 第一生命保険株式会社が、所属ごとに行う地域社会貢献活動のひとつとして、各所属のコーディネートによりトリトンアーツがアウトリーチを提供する。

品川区立品川児童学園
12月1日(木) 1～3歳(20分間) / 4～5歳(30分間)

コミュニティ No.25

- 実施場所 こみゆにていぶらぎ八潮 1階 第2地域交流室
- 受益者 児童発達支援センターに通う1～5歳児と保護者 ■受益者数 25名
- 出演者 中川直子(ヴァイオリン) 田中愛(チェロ) 高橋朋子(ホルン) 五田詩朗(打楽器)
- 主催 第一生命保険 保険金部
- 内容 児童発達支援センターである品川児童学園で、昨年に続いてアウトリーチを実施した。「こする、吹く、たたく」を親子で体感してもらいながら楽器や楽器の音色を紹介した。じっくりと音楽を聴いてもらう他にも、マラカスや鈴など音の出る楽器で参加してもらった曲も取り入れ、親子で生の音楽を楽しんでいただいた。
- 参加者の声 お子さんを連れてホールでのコンサートには行きにくいという声もあり、こうやって演奏家に来てもらえると子どもだけでなく保護者も一緒に音楽を楽しめたと思う。音楽を聴くことが少しずつ得意になっている子もいて、子どもたちの日々の成長を感じる。(先生の声)



(2) 第一生命ホールオープンハウス

第一生命ホール オープンハウス 2016

7月23日(土) 11:30～16:30

- 実施場所 第一生命ホール
- 受益者 未就学児から小学校低学年のお子さまを持つご家族を中心とした近隣地域の方
- 受益者数 632名
- 出演者 TANBRASS (金管五重奏+打楽器) [松木亜希/永井綾子(トランペット) 高橋朋子(ホルン) 小篠亮介(トロンボーン) 仁藤雄貴(テューバ) 五田詩朗(打楽器)]
米澤浩(尺八) 熊沢栄利子(箏)
Quartet MIYABI (弦楽四重奏) [前田奈緒/北見春菜(ヴァイオリン) 高橋梓(ヴィオラ) 印田陽介(チェロ)]
- 目的 近隣地区で増加する、とくにファミリー層をメインターゲットとして、これまでホールに来たことのない方に身近に素晴らしいホールがあり、音楽を楽しめるということを知ってもらい、通常のコンサートにも来場してもらうきっかけとする。
- 後援 中央区・中央区教育委員会
- 協力 株式会社村松フルート製作所

コミュニティ No. 8



ホールステージ

コンサートホールで音楽を聴いてみよう

TANBRASS (金管五重奏+打楽器) 20分間×1回 / 30分間×1回



◎大窪道治

米澤浩(尺八) 熊沢栄利子(箏) 30分間×1回



◎大窪道治

Quartet MIYABI (弦楽四重奏) 20分間×1回 / 30分間×1回



◎大窪道治

日頃、ホール近隣の小学校や幼稚園で行っている一般には公開していないアウトリーチを、ホールのステージ上で行う事により、コミュニティ活動への理解を深めていただいた。特に4歳から中学生まで(未就学児は保護者同伴)には、50名限定で、ステージの上に座ってもらい、通常行っているアウトリーチと近い距離感で演奏を体感して頂いた。



◎大窪道治



◎大窪道治

ステージで写真撮影

コンサートの合間を利用し、ステージ上で写真撮影ができる時間を設けた。チェロ、フルートを構えてや、指揮台の上で指揮棒を持って撮影して頂いた。



◎大窪道治



◎大窪道治

各コーナー

フルートを吹いてみよう

45分間×3回（小学1年生以上2回・小学4年生以上1回）
ひとり1本ずつフルートを持ち、フルート教室の講師による本格的な演奏体験を実施、計58名が参加した。
協力：株式会社村松フルート製作所



©越間有紀子

お箏を弾いてみよう

45分間×2回（小学生以上）
ペアで一面の箏を利用し、初めて箏に触れる方が、体験の最後には「さくら」を演奏できるようになる体験を実施、計83名が参加した。
講師：米澤浩（尺八） 熊沢栄利子（箏）



©越間有紀子

ミュージックベル体験（監修：田村緑）

ミュージックベルでパッヘルベルの「カノン」を演奏して頂いた。
計19回の演奏に、215名が参加した。



©越間有紀子

バックステージツアー（20分間×18ツアー）

普段はスタッフしか入ることのできないホール裏側を見学するツアーを実施した。計181名が参加した。



©越間有紀子

裏方の仕事をみてみよう

小学4～6年生を対象に、ホールを支える裏方スタッフの仕事を体験して頂いた。調光室や音響調整室に入り、どのような作業を行っているかを、第一生命ホールで働いているスタッフから説明を受けたり、舞台設営の様子を映像でみるなど、夏休みの自由研究にも役立つような内容で実施した。13名が参加。（事前予約のみ）



©越間有紀子

音楽クイズラリー

入口で配布したパンフレットにクイズを掲載。オープンハウスの各コーナーに参加したり、サポーターとふれあうと答えがわかったりヒントがもらえる内容とした。



©越間有紀子

- 参加者の声 音楽や楽器が身近に感じられて楽しかったです。／音楽を生で聴けて良かった。生の演奏がとても良かった。／子どもに対してちょうどいい時間で楽器の演奏体験をさせていただき、大変楽しめました。子どもも楽器に興味を持てたと思います。／スタッフさんの気配りや雰囲気作りも素晴らしかったと思います。

(3) ロビーコンサート

① 晴海トリトンスクエアグランドロビーコンサート

- **目的** トリトンスクエア在勤者や近隣住民に、良質の音楽による憩いのひと時を過ごしてもらい、音楽の素晴らしさを感じていただく。トリトンアーツの活動や第一生命ホールにも興味をもってもらおう。
- **実施場所** 晴海トリトンスクエア グランドロビー
- **内容** 晴海トリトンスクエア 2 階グランドロビーにて平日に開催する無料コンサート。2016 年度は夜公演を 4 回、昼公演を 2 回実施。当日の運営は多くのサポーターの協力を得て進行。なお、5 月 18 日(水) Buzz Five 出演のロビーコンサートでは、一般の方に呼びかけ楽器を持ち寄って、小川聡作曲「好きです、トリトン！」の演奏に参加する企画を実施した。本番までに 2 回事前練習会（1 回目 10 人、2 回目 17 人参加）を実施し、本番当日は 25 名が参加しお客さまの前で一緒に演奏した。
- **受益者** トリトンスクエア勤務者 近隣在住者
- **後援** 社会福祉法人中央区社会福祉協議会
- **協賛** 晴海トリトンスクエア



5 月 18 日開催、Buzz Five と一緒に演奏する参加者

- **参加者の声** 生演奏は「やはり違う!!」と感しました。／リフレッシュできました。／晴海に住んで 15 年こんな素敵なプレゼントがついていることに幸せです。／遠くへ時間を気にしながら行かなくても仕事帰りにロビーでコンサートを聴けるなんて素敵です。／子ども連れでコンサートに行ける機会が少ないので、来られてよかった

晴海トリトンスクエア 夜のグランドロビーコンサート 5 月 18 日(水) 18:10 ~ 19:00

コミュニティ No. 2

- **受益者数** 233 名 (内演奏参加: 25 名)
- **出演者** Buzz Five (金管五重奏)
菊本和昭 (ゲスト・トランペット)
- **演奏曲**
カーマイケル: スターダスト
J.S. バッハ: 主よ、人の望みの喜びよ
モーツァルト: ホルン協奏曲より
イヴェイゼン: コルチェスターファンタジーより第 1 楽章
小川聡: 好きです、トリトン! ~合奏~ ※一般参加あり



晴海トリトンスクエア 夜のグランドロビーコンサート 7 月 13 日(水) 18:10 ~ 18:50

コミュニティ No. 7

- **受益者数** 173 名
- **出演者** 弦楽四重奏
矢部達哉 / 双紙正哉 (ヴァイオリン)
村田恵子 (ヴィオラ) 山本裕康 (チェロ)
- **演奏曲**
モーツァルト: セレナード 長調「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」K525
ポロディン: 弦楽四重奏曲第 2 番 二長調より第 3 楽章 ノットウルノ
モーツァルト: ディヴェルティメント 二長調 K136 より第 2 楽章



晴海トリトンスクエア 夜のグランドロビーコンサート 9 月 26 日(月) 18:30 ~ 19:10

コミュニティ No. 13

- **受益者数** 223 名
- **出演者** 広田智之 (オーボエ) 大久保治信 (キーボード、編曲) 池田邦人 (ギター) 望月研吾 (ベース) 内田 AIZO 藍 (ドラムス)
- **演奏曲**
ロッド・スチュワート: セイリング
レオン・ラッセル: ア・ソング・フォー・ユー
エルビス・コステロ: SHE
サイモン & ガーフアンクル: 明日に架ける橋
ジョー山中: 人間の証明
ジョン・レノン: イマジン
シューベルト: 魔王
ボズ・スカッグス: ウィ・アー・オール・アローン



晴海トリトンスクエア グランドロビーコンサート 11 月 24 日(木) 18:10 ~ 18:50

コミュニティ No. 24

- **受益者数** 240 名
- **出演者** 本田雅人 (サクソ) 秋田慎治 (ピアノ)
- **演奏曲**
ビル・エヴァンス: Waltz for Debby
リー・ハーライン: 星に願いを
モーツァルト: キラキラ星変奏曲
小川聡: 好きです、トリトン! ジャズバージョン
本田雅人: It do mean a thing (みんなスウィング)



晴海トリトンスクエア
グランドロビーコンサート
2017年1月6日(金) 12:10～12:50

コミュニティ No. 32

- 受益者数 201名
- 出演者 中井智弥(二十五絃箏) 堀米綾(ハーブ) 相川瞳(パーカッション)
- 演奏曲
ロジャース：私のお気に入り
ピアソラ：オプリビオン
ピアソラ：リベルタンゴ
モンティ：チャルダッシュ
中井智弥：花のように
中井智弥：楊貴妃
岡野貞一：おぼろ月夜



晴海トリトンスクエア
グランドロビーコンサート
2017年3月13日(月) 12:10～12:50

コミュニティ No. 41

- 受益者数 172名
- 出演者 大森智子(ソプラノ) 吉川健一(バリトン) 白石光隆(ピアノ)
- 演奏曲
ディ・カプア：O sole mio
オッフェンバック：人形オランピアの歌～歌劇「ホフマン物語」より
ドニゼッティ：天使のような娘～歌劇「ドン・パスクワレ」より
湯山昭：電話
服部良一：蘇州夜曲
モーツァルト：おいらは鳥刺し／パパパ～歌劇「魔笛」より
村井邦彦：翼をください
ヴェルディ：乾杯の歌～歌劇「椿姫」より



② 第一生命ホールロビーコンサート (アウトリーチセミナー 2016)

第一生命ホールロビーコンサート
～アウトリーチセミナー講師と受講生による～
2017年3月30日(木) 12:15～13:45

コミュニティ No. 43

- 実施場所 第一生命ホールロビー
- 受益者 近隣の住民・在勤者、クラシック愛好家 ■ 受益者数 96名
- 出演者 講師：松原勝也(ヴァイオリン)
セミナー受講生：大庭絃子(ヴァイオリン) 市川友佳子(ヴィオラ) 松本亜優(チェロ)
ゲスト：柳瀬省太(ヴィオラ) 伊藤七生(チェロ)
- 目的 アウトリーチセミナーの一環として、一般のお客様を対象とした室内楽ロビーコンサートに出演することで、アンサンブル能力を磨き、作品への理解と表現力の向上を目指す。アウトリーチ受入校の小学生も参加できる春休みに開催しホールに足を運ぶきっかけとする。
- 内容
スメタナ：弦楽四重奏曲第1番 ホ短調「わが生涯より」
ブラームス：弦楽六重奏曲第2番 ト長調 Op.36
- 参加者の声 やはり間近で響く音楽はとても良いです。演奏者と近い感じになります。曲目や演奏もとても良かったです。(50代・男性) / 幼いころから生の演奏にふれる機会のある子どもたちは幸せです。心の栄養になるのはこうした芸術の力ですね。
- アウトリーチセミナー 2016 については、P.45 参照。



(4) レクチャー

- **目的** クラシック音楽をあまり良く知らないがもっと知りたい方、コンサートに足を運んでみたい方、もっと音楽を深く楽しみたい方を対象に、音楽の楽しさを知って頂き、音楽を分かりやすく理解してもらう事を目的として実施。

中央区民カレッジ

大人のためのクラシック入門講座 モーツァルトの魅力 (全4回)

- ① 10月29日(土) 14:00～16:00
- ② 11月5日(土) 14:00～16:00
- ③ 11月12日(土) 14:00～16:00
- ④ 11月26日(土) 14:00 開演

■ **実施場所** ①・④ 第一生命ホール / ②・③ 晴海トリトンスクエア X 棟会議室

■ **受益者** 中央区在住・在勤・在学生

■ 受益者数

① 27名 ② 22名 ③ 23名 ④ 28名

■ 出演者

① 講師：有田栄 (昭和音楽大学教授)、第一生命ホールバックステージツアー

② 講師：有田栄 (昭和音楽大学教授)

③ 講師：益田善太 / 黒田聡 ほかムラマツフルート

④ 室内楽の魅力 モーツァルト第2回公演鑑賞 (有田栄 (昭和音楽大学教授) と一緒に鑑賞)

■ **内容** 区内在住・在勤者を対象に全4回の講座を行った。第一生命ホールの良さを知って頂くためバックステージツアーとリハーサル見学、楽器体験を交えてのレクチャーコンサート、講師有田栄による講義、コンサート鑑賞と、クラシックに馴染みの少ない方にも興味を持って頂ける内容と体験で、音楽をより身近に感じて頂いた。

■ ①～③ **受講料** ¥2,000 / ④ **鑑賞料** ¥4,500

■ **主催** 中央区

コミュニティ No. 20



(5) その他コミュニティ活動

月島草市

7月9日(土) 14:00～16:00頃まで

■ **実施場所** 月島西仲通り ■ **受益者** 地域住民 ■ **受益者数** 100名

■ **目的** 地元でも歴史の長い夏まつりにブースを出展し、ミュージックベルの体験を通じて、地域の方にトリトンアーツを知っていただく。

■ **内容** 月島西仲通り商店街にて、毎年7月のお盆頃に行われるお祭りに参加。飲食の露店が多い中、ミュージックベルの体験を予定していたが、雨天のため、オープンハウスのチラシを風船と共に配布するなど、ピアノアートサロンと協力して行った。

* **ピアノ・アート・サロン**と協同

コミュニティ No. 5

〈協力企画〉

中央区立有馬小学校・幼稚園 音楽鑑賞会

7月11日(月) 小学校低学年(45分間)、幼稚園児(30分間)、小学校高学年(45分間)

■ **実施場所** 体育館 ■ **受益者** 有馬幼稚園年中・年長、小学校全児童 ■ **受益者数** 595名

■ **出演者** 大森智子(ソプラノ) 菊本和昭(トランペット) 新居由佳梨(ピアノ) 浜まゆみ(マリンバ)

■ **内容** 「乾杯の歌」や「威風堂々」等の名曲の数々を、華やかなアンサンブルでお届けした。対象人数が多く、普段のアウトリーチに比べ児童と演奏家との物理的距離があったが、皆で参加できるボディパーカッションや、演奏家の音楽への愛情や子ども達への温かな思いが伝わる演奏など、皆の心の距離が近づいた瞬間が多くあった。

■ **参加者の声** とても素晴らしい演奏だった。こんなに上手な方に来ていただき、ありがたい。(先生の声)

コミュニティ No. 6



■ コミュニティ活動レポートピックアップ

◎ 6月6日(月) 晴海総合高校吹奏楽部アウトリーチ *詳細はP.33 「〈アウトリーチ〉②高等学校でのアウトリーチ」欄参照

都立晴海総合高校の吹奏楽部員を対象に、金管五重奏団 Buzz Five によるアウトリーチを行いました。2・3年生は、昨年の弦楽四重奏のアウトリーチを経験していますが、新入部員の1年生は初めてです。

アウトリーチ開始前、プログラムの最後に行う合同演奏のために、部員たちは思い思いに楽器の練習をしていました。

そして、出演者の登場と共に一曲目の『スターダスト(カーマイケル)』が始まります。演奏が終わると、部活動らしく元気よく挨拶をしていました。トロンボーンに加藤さんが「これは、作曲者が初恋の人を思い出して作った曲。みなさんはその辺りどうですか?」と高校生らしい話題を振る場面もありました。

二曲目は、金管五重奏のために作られた『コルチエスターファンタジー(イウエイゼン)』。「作曲家=過去の人というイメージがあるかもしれないけれど、同じ時代を生きている人の曲です」と説明があり、部員たちにとって作曲家を身近に感じられるお話がありました。迫力かつ繊細な演奏に、身を乗り出して真剣に聴いている様子が伝わってきました。

続いて、改めて金管楽器の音の出る仕組みについて、少しお勉強。木管楽器・打楽器の部員への質問を中心に、唇を振動させて音を出している原理を考えました。

三曲目は、チューバソロの『フニクリ・フニクラ』。低音楽器にはあまり無いメロディを吹ける喜びを、チューバの石丸さんが熱く語りました。低音楽器の部員にとって、共感できるお話だったと思います。



そして、最後はトランペットの小川さん作曲『好きです、トリトン!』の合同演奏。始めにロングトーンで音出しをし、早速曲の合わせへ。初めて出演者と一緒に合わせた喜びが感じられるノリノリな演奏でした。出演者の方々も部員たちの勢いある演奏に、賞賛の言葉を送っていました。

最後には質問コーナーも。奏法に関する日頃の悩みから、楽器を始めた経緯まで、様々な質問が飛びました。終了後も、パートごとに出演者のところまで行き、盛んに交流していました。

今回、素晴らしい演奏を聴くことができたのももちろん、合同演奏をし、出演者に質問もでき、とても充実した時間だったのではないのでしょうか。部活動ですと、自身の練習に集中してしまいがちですが、このようなプロの方々の演奏を聴き刺激を受けることは、とても大切だと思います。出演者の方も仰っていましたが、高校の近くにある第一生命ホールにぜひ足を運んでもらいたいですね。(サポーター 戸松久実)

◎ 7月5日(火) 日本橋幼稚園アウトリーチ *詳細はP.33 「〈アウトリーチ〉③幼稚園・保育園等でのアウトリーチ」欄参照

この日は、子どもたちにとって身近な生き物や歌を題材として、音楽の楽しさを共有するプログラムのアウトリーチが行われました。

まず、年少クラスの子どもたちが椅子に座って期待に胸を膨らませているところに、チェロを持った印田さんが登場し、「きらきら星」をピチカートで演奏します。そこへヴァイオリンの前田さんと北見さん、ヴィオラの高橋さんが楽器を演奏しながらやってきました。美しい楽器の響きと華やかなドレスに、子どもたちの表情は一気に明るくなりました。

楽器紹介と自己紹介が終わると、「牛」「犬」「猫」のイラストを子どもたちに見せて、それぞれの楽器で動物の鳴き声を模倣して音を出します。子どもたちは「わかった!うし!」「いぬ!」「ねこ!」と身を乗り出して答えます。中には鳴きまねをする子どももいました。子どもたちの楽器に対する興味が引き出されたところで、「ワルツィング・キャット」の演奏です。最後のところでヴィオラが犬の鳴き声の模倣をすると、子どもたちにとても受けていました。



次に「楽器を使ってお絵かきをしたいと思います。良く耳をすませて聴いてください。」と言って「かえるのうた」をヴァイオリンだけで演奏。その時、蛙の絵が画用紙に登場。「蛙が一匹でさみしそうですね。」と言って、今度はヴァイオリン・チェロの二重奏。この時に、黒の線だけで紫陽花の花や葉を書いた透明なフィルムが蛙の背景に差し込まれました。「この絵をもっと素敵にするには、どうしたらいいかな?」と聞くと、「色を塗る!」という声があがりました。高橋さんが「そう、色を塗るのがヴィオラのお仕事です。」と言い、三重奏で演奏を始めました。すると蛙の

絵の背景に紫陽花の花や葉に鮮やかな色を付けたフィルムが差し込まれました。北見さんはかたつむりの絵を蛙の隣に置いて演奏に参加、豊かな弦楽四重奏の世界が生まれました。子どもたちは楽器の響きやハーモニーを堪能している様子でした。



それからカルテットの演奏でみんな一緒に「たなばたさま」を合唱し、続いてハイドンの弦楽四重奏曲 Op50-6 第4楽章を聴きました。これは「蛙」という名がつけられている通り、曲のあちこちでカエルの鳴き声のような音が聴こえてきます。これも子どもたちは興味津々で聴いていました。最後に子どもたちは誇りげな表情で、園歌を元気良く歌ってくれました。年中と年長クラスでは、きらきら星の代わりにカルメン前奏曲の演奏、最後にベートーヴェンの弦楽四重奏曲 Op18-1 第4楽章の演奏を聴きました。最後の曲の真剣な演奏に、子どもたちの集中もこの日一番高かったようです。

今回は絵を使うことで子どもたちが集中し、想像力が効果的に引き出されました。メンバーたちの子どもたちへの語りかけも上手で、音楽を聴く時のポイントがていねいに工夫されていたことがとても良かったと思いました。音楽はみんなで一緒に演奏したり歌ったりすると楽しいね、というメッセージが子どもたちの心にしっかり伝わっていたと思います。それだけでなく、生演奏の力を肌で感じ取ってくれたのではないのでしょうか。とても素晴らしいアウトリーチプログラムでした。

(サポーター 鈴木香代子)

*そのほかのコミュニティ活動レポートは、トリトンアーツ・ウェブサイト (<http://www.triton-arts.net/ja/community/2016/>) に掲載しています。ぜひご覧ください。

(1) サポーター

- 目的 2001年の設立当初より中央区在住・在勤者や音楽愛好家を中心とするボランティア（サポーター）の組織化と支援を目的に活動を行っている。サポーターのきめ細やかな対応や人脈により、子どもから大人まで様々な人々に更に音楽を身近に感じていただき、コミュニティの活性化を図ることも目的としている。
2016年度よりサポーター制度のリニューアルを実行し、1・2については要件を伴う登録制とし、3は公募制として運用している。

- 登録人数 72名（男性18名 女性54名）
■ 登録者の居住地 中央区17名 江東区8名 その他23区21名 東京都市部6名
神奈川県10名 埼玉県1名 千葉県7名 茨城県2名

■ 活動内容

1 第一生命ホール主催・共催公演のスタッフサポート
(25活動・のべ74名参加)

©越間有紀子

第一生命ホールへご来場のお客さまに気持ちよく過ごしていただくために、スタッフと共にチラシの挟み込み作業、パンフレット配布、花束受付、アンケート回収などを行った。

2 コミュニティ活動のスタッフサポート
(27活動・のべ43名参加)

コミュニティ活動先で会場設営や楽器運搬、写真・ビデオの撮影、レポート作成などを行った。

3 第一生命ホールオープンハウスの企画・運営
(1活動・9名参加)

オープンハウスプロジェクトサポーターを組織し、スタッフと共に制作・運営を行った。(P.37～38参照)

4 第一生命ホールオープンハウスの当日サポート
(1活動・86名参加※)

©越間有紀子

第一生命ホールオープンハウス(P.37～38参照)において会場準備、お客さま案内、各音楽プログラムでの対応補助などを行った。お客さまアンケートでは「気配りや雰囲気づくりが素晴らしかったと思います」と、サポーターへの褒めの言葉もあった。

5 子育て支援コンサートの子ども音楽スタジオ準備・運営 (1活動・50名参加※)



©越間有紀子

子育て支援コンサート(P.15参照)では特に第一部「子どものための音楽スタジオ」での子どもの受け入れと音楽スタジオのサポートを行った。その他、受付業務や会場のご案内などを行った。

6 ロビーコンサートのスタッフサポート
(10活動・のべ42名参加)

ロビーでよちよちコンサート、室内楽ロビーコンサート、晴海トリトンスクエアグランドロビーコンサートにおいて、スタッフと共に会場設営、チラシの挟み込み作業、お客様のご案内などを行った。

7 事務のサポート
(18活動・のべ62名参加)

事務所内でのチラシの挟み込みやダイレクトメール発送、トリトンアーツ通信の発送、アンケート集計作業、トリトンスクエア館内へのチラシ配布などを行った。

8 サポーターミーティングや講座の実施
(7活動・のべ72名参加)

公演サポート接遇研修会やアウトリーチ意見交換会、交流会などを行った。

※4・5補足：当日のみ参加のサポーターを公募した。参加者数には通年の活動登録をしていないサポーター数も含む。



サポーター集合写真 ©大窪道治
2016年7月23日 第一生命ホール オープンハウス 2016 終了後に出演者、スタッフと共に

(2) インターシップの受入れ

- 目的**

トリトンアーツのノウハウを広く知ってもらおうと共に、将来のアートマネージメント人材の育成を目的に、主にアートマネージメントを勉強している大学生及び大学院生のインターシップを毎年受け入れている。
- インターンシップ生 (期間)**

 - ① 昭和音楽大学 2名 (6月～11月 各自 12日間)
 - ② 一橋大学大学院 1名 (7月～11月 12日間)
 - ③ 東京藝術大学 3名・大学院 1名 (サポーター活動日に併せて随時参加)
 - ④ 上野学園大学 1名 (サポーター活動日に併せて随時参加)
 - ⑤ 上智大学 1名 (サポーター活動日に併せて随時参加)
- 内容**

第一生命ホールオープンハウス、ホール公演、ロビーでよちよちコンサート、晴海トリトンスクエアグランドロビーコンサート、アウトリーチなどスタッフの補助をしながらホールとコミュニティの両面からトリトンアーツの活動を知ってもらった。
- インターンシップ生の声**

 - ◎実際の現場で働くことで、周りとのコミュニケーションや、情報共有などにおいて、お互いに信頼して仕事をすることが大事だと学んだ。事務所でのスコア印刷、製本、掲示物作成、パソコン作業では、こなさなければいけない課題が多くある中、限られた時間内で効率的かつ、丁寧に作業しなければならないと学んだ。たくさんのサポーターの方とも関わることができ、今まで話す機会のなかった年代、職業の方と接し、学生同士の会話では得られない、社会人の苦労や喜び、考え方、価値観を知ることができた。(昭和音楽大学学生)
 - ◎コンサートを企画する側がどのように考えて企画をたて実現するかを知りたいと思い、インターシップに参加した。オープンハウスや小学校などのアウトリーチに関わったが、特に「アウトリーチセミナー」では、最初の打合せから参加し記録をレポートにまとめ、アウトリーチのプログラムがどのように作られていくかの過程を見ることができ大変興味深かった。音楽家ひとりひとりが大切に思っていることを子供たちにより強く伝えるために適切なプログラム構成はどのようなものか、それがアウトリーチの現場で子どもたちの反応にどうあらわれるか、とても勉強になった。(東京藝術大学院院生)

(3) アートマネージメントに関する外部講師派遣等

- 目的**

トリトンアーツの活動を広く知ってもらおうと共にアートマネージメントに関する現場のノウハウを伝えることを目的に、講師等の依頼を受けている。
- 内容**

 - ① 4月～7月 (全15回)
昭和音楽大学「芸術文化と社会1」で非常勤講師として講義
 - ② 10月～2017年1月 (3回)
静岡文化芸術大学主催「自治体文化財団役員・幹部職員向けアートマネジメント研修」
「教材作成研究会」外部委員として参加

(4) 若手演奏家支援

① アウトリーチセミナー 2016

- **目的** 「コミュニティの中で音楽家がどう生きていくか」を考えるためのセミナー。講師と弦楽四重奏を組み、トリトンアーツのコーディネーターと共にプログラムを考えリハーサルの上、中央区、江東区内の小学校でアウトリーチを行う。実践の場を通して、コミュニティ活動を行う演奏家を育成する。
- **内容** 講師と受講生で弦楽四重奏を組み、小学校や幼稚園、病院等でのアウトリーチを実践した後、第一生命ホールロビーコンサートに出演する。プログラム作りからコミュニティ活動の実践の場を通して、アンサンブル能力を磨き、作品への深い理解と表現力の向上を目指すと共に、演奏家としての今後の活動に役立つスキルを身につける。
- **講師** 松原勝也 (ヴァイオリン：東京藝術大学教授)
- **受講生** 大庭絃子 (ヴァイオリン)
市川友佳子 (ヴィオラ)
松本亜優 (チェロ)
- **実施内容** 江東区立豊洲西小学校「4年生はじめてのクラシック」 *詳細は P.28
中央区立中央小学校「はじめてのクラシック」 *詳細は P.30
文化教養学園アウトリーチ *詳細は P.34
聖路加国際病院アウトリーチ *詳細は P.35
第一生命ホールロビーコンサート *詳細は P.40
ロビーコンサート・ゲスト：柳瀬省太 (ヴィオラ) 伊藤七生 (チェロ)
- **受講生の感想**
- ・子どもたちの目の前で演奏し、私たちの熱意が伝わり、何らかの形で受け取ってもらえたことを実感できたことが、自信につながった。
 - ・自分が心を開いて接すれば、子どもも心を開いてくれることが分かった。
 - ・台本を考えることは大切だけど、現場でいかに台本から離れられるか (子どもの反応を受け止め、コミュニケーションを取りながら進行すること) が課題だと発見できた。
 - ・演奏に関しては、向き合えば向き合う程新たな課題が見えてきた。
 - ・ただ曲を合わせるだけでなく、プログラム構成を台本からメンバーと時間かけて話し合い作っていったことで、しっかり深く掘り下げられた。この経験は今後アウトリーチやコンサートの企画、演奏活動をしていく上でとても大事な軸になると思う。
 - ・(曲のイメージを絵に描き、児童に見てもらったが) イメージを絵として仕上げるのは、実際にやってみると結構難しかった。出来上がった絵を子どもたちに見てもらい、色々な反応をもらえてとても嬉しかった。
 - ・子どもが自身の中に浮かんだイメージを言ってくれた時、伝わったんだなと実感した。



©藤本史昭

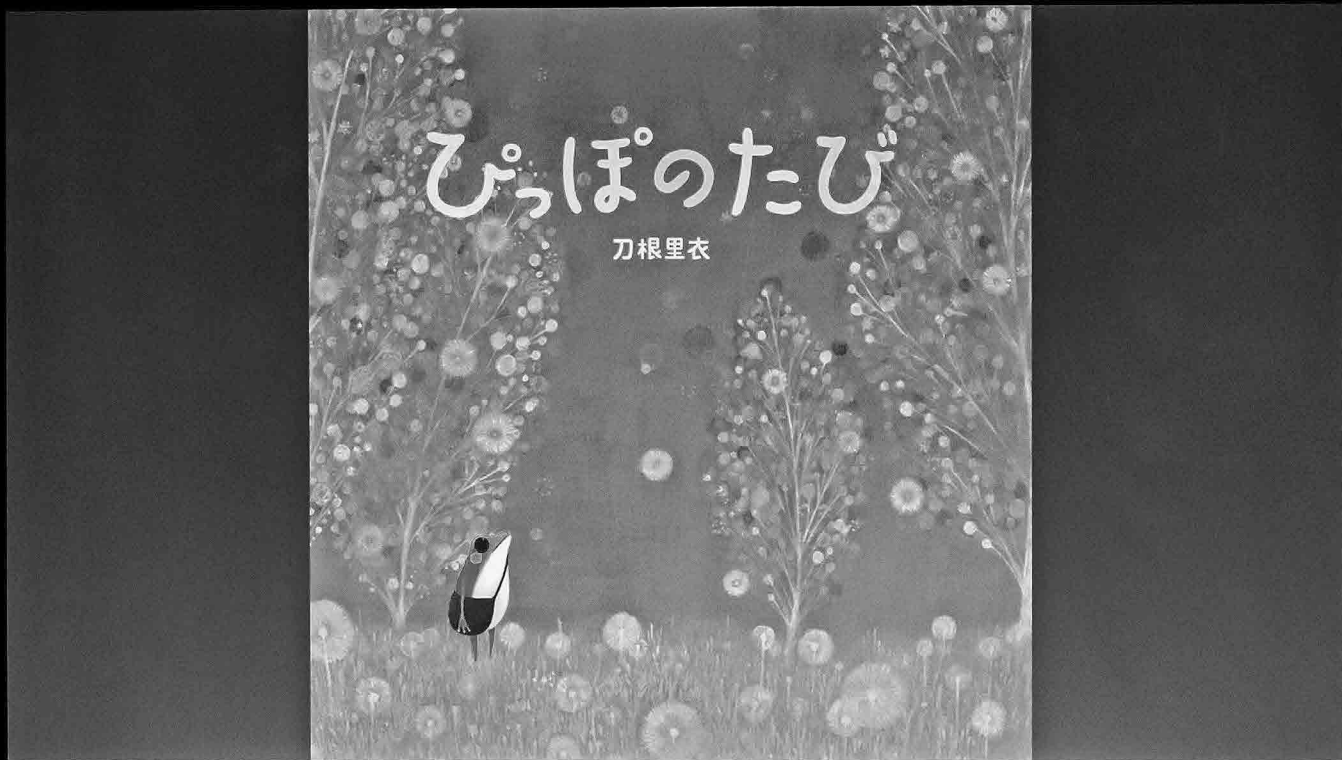
② 演奏の機会の提供

- **目的** 「アウトリーチセミナー」を修了した演奏家に、保育園・幼稚園でのアウトリーチの機会や、ホールでのコンサートでの演奏機会を提供し、実践の場を通してさらにスキルアップを目指す。
- **内容** アウトリーチセミナー修了生2名を含む Quartet MIYABI (弦楽四重奏) によって、3つの園でアウトリーチを実施した他、「第一生命ホールオープンハウス」にて公開アウトリーチを行い一般の来場者にも体験してもらった。また今年度は「子育て支援コンサート」でもアウトリーチセミナー講師の松原勝也氏と、若手演奏家育成セミナー修了生11名が共演した。
- **実施内容** 中央区立日本橋幼稚園 *詳細は P.33
中央区立晴海幼稚園 *詳細は P.33
中央区立晴海こども園 *詳細は P.34
第一生命ホールオープンハウス *詳細は P.37-38
子育て支援コンサート *詳細は P.15



子育て支援コンサート

©池上直哉



子どもといっしょにクラシック〜子育て支援コンサート『ひっぽのたび』【第2部】 ©池上直哉

広報活動

- 2-1. 新聞・雑誌
- 2-2. トリトンアーツからの情報発信

2

◎ 掲載誌面抜粋 公演に先立っての出演者インタビューや公演後に公演評などが、音楽専門誌等で紹介されました。

Pre-Stage=Prestige interview

矢部達哉

Tatsuya Yabe / ヴァイオリン

開館15周年記念公演で、練達の名手が大活躍!

取材・文：奥田佳道 写真：藤本史昭

東京・勝どき、晴海トリトンスクエアに建つ第一生命ホールが開館15周年を誇る。特に銘打っていないが、祝祭の主役・主軸はこの人、ヴァイオリニストの矢部達哉。東京都交響楽団並びにサイトウ・キネン・オーケストラのキーパーソン、上野学園大学のプロフェッサーなどご紹介するまでもない。オーケストラ、アンサンブル、ソロの領域を、精妙な音色で行き来する練達の名手である。

ファン推れのステージを日づけ順に記せば、9月に「小山実稚恵とアルティ弦楽四重奏団」、10月に「トリトン晴れた海のオーケストラ」、そして11月に「15周年記念ガラ・コンサート」となる。すべて日曜の午後2時開演。

いつだって頼もしい矢部だが、音楽家として悩んだ時期もあった。

「ずっと頭と身体がバラバラだったんです。人があまりいない時間の美術館で絵を色々な角度から見て「色って、色の調和ってなんだろう、音楽ってどこへ向かっていくんだろう」と考えていました。自分のこの見つけ直し時期に入っていたんですね」

そんな状態が今年の春頃に変化したという。

「何かざつと閃いた感じ。ヴァイオリンを弾くのが、また楽しくなりました。きっかけになったコンサートがあります。春に都響で「ドン・キホーテ」と「メタモルフォーゼ」を演奏したでしょう（筆者注：前者は3月で小泉和裕指揮、後者は11月でフランソワ・ザヴィエリ・エト指揮）。大好きなRシムトラウスを弾いて、自分をもう一度試そうと思いました。指揮者にも思われ、すぐ気持ちが悪かった。ソロを弾いた時、それまで抱えていた悩みが不思議なことに消えていたのです。良い状態の秋のステージを迎えられそうです」

9月はまずヴァルテット。

「アルティ弦楽四重奏団を、もっと知っていただきたいという気持ちがあります。東京で、しかも無沙汰でした。久しぶりのステージで、しかもゲストがいるんです。僕たちはずっとパートナーの弦楽四重奏曲をやってきたので、誰かと共演するということがあまり

なかったのです。クラリネットのポール・メイエンさんと共演したことはありますが、アルティは「ヴァルテット一筋」などところがあったわけです。それが今度は何と小山実稚恵さんとピアノ・クインテットを2曲、ドヴォルザークとブラームスです。オーケストラで何度も共演している小山さんですが、アルティでは初共演です」

10月は、昨年6月にモーツァルトの調べとともに出演した「トリトン晴れた海のオーケストラ」の第2回演奏会。復興、才力が勢揃いした。

「世代によって「見える風景」が違うでしょう。音楽もそうですね。僕はコンサートマスターとして弾きますが、下の世代からの刺激も欲しいんです。だからアイデアがあったら言って、と。オーケストラのメンバーは、首席には音楽的な価値観を共有できる人を選び、若い人は首席の方にお任せしたり、僕が別の感度に優れた人にも一緒にやって、巧いなあと思った人たちがです。ホール主催セミナーの移生（トリトン・アーツネットワークと第一生命ホール主催のアドヴァンストセミナー、室内楽アウトリーチセミナー）たちも加わります。若手世代には、信じられないぐらいハモニーの感度に優れた人もいます。でも、僕も鋭いです。リハーサルで弾いただけで完璧に合ってしまうこともありですが、ただ合わせた音ではなく、演奏家の顔が見える音、そうですね、いつもより「その景色」を見たいと思っています。今年はポール・メイエンさんと一緒に出来ることになりました」

昨年には続くアマテウス尽くし。「ハフナー」、クラリネット協奏曲、「ジュビター」に胸ときめかない聴き手はいないだろう。

11月は豪華ガラ・コンサートの一翼を担う。こちらにもオール・モーツァルト・プログラムだ。

「僕は川本嘉子さんとデュオ、それと「アダージョとロンド」（K.617）なんですが、ウェルズ弦楽四重奏団は客席で聴きたいなあ。東混（ゾリステン）で「アヴェ・ヴェルム・コルパリス」もあるんですよ」

秋は第一生命ホールでも「矢部達哉を、晴れの場には、この人が必要だ。

Information

室内楽の魅力 プラームス 第5回
音楽家たちとの友情 II 9/25(日)14:00
出/小山実稚恵(ピアノ)アルティ弦楽四重奏団
トリトン晴れた海のオーケストラ
第2回演奏会 10/30(日)14:00
出/トリトン晴れた海のオーケストラ 共/ポール・メイエン(クラリネット)
室内楽の魅力 モーツァルト 第1回
15周年記念ガラコンサート 11/20(日)14:00
出/伊藤静(ピアノ) 宮久富由美子(フルート) 宮野真子(ハープ)
松菜穂(長笛) 矢部達哉(以上ヴァイオリン) 川本嘉子(伊藤静(以上ヴァイオリン)
横塚遼(以上チェロ) 東海祐士(バス) 東海祐士(バス) 東海祐士(バス)
ウェルズ弦楽四重奏団

会場 第一生命ホール
9/25(日)14:00 10/30(日)14:00 11/20(日)14:00
観覧料 全席指定 ¥2,000 全席 ¥1,500 全席 ¥1,000
http://www.triton-arts.net



Profile

1988年東京生まれ。江崎県立音楽高等学校卒業。89年桐朋学園大学音楽学部卒業。90年22歳の若さで東京都交響楽団のソロ・コンサートマスターに抜擢される。97年、NHK交響楽団のソロ・コンサートマスターに就任。99年、トリトン晴れた海のオーケストラの首席ソリスト、室内楽で活躍。ソリストとして、小澤征爾、若杉弘、フルネ、クレマー、アブリット、イザベル、ベルリオーニ等の著名指揮者と共演。95年東京毎日出版賞、平成8年度文化功労賞、95年第1回全日本クラシック音楽大賞、上野学園大学音楽文化学部の理事、ソリストとしてトリトン晴れた海のオーケストラの首席ソリスト2枚を含む5枚、オクタヴィア・レコードより2枚のCDが発売されている。

2016年5月18日発行「ぶらあば6月号」
矢部達哉（ヴァイオリン）インタビュー
開館15周年記念公演で、練達の名手が大活躍！
取材・文：奥田佳道 写真：藤本史昭

トリトン晴れた海のオーケストラ
(第2回演奏会)
大きな室内楽としてのオーケストラ、その喜びと更なる可能性の双方を感じさせる舞台だった。コンサートマスター 矢部達哉をはじめ優れた指揮者なしの楽団「トリトン晴れた海のオーケストラ」第2回演奏会はモーツァルト特集。「交響曲第35番（ハフナー）」から機敏を魅せるアンサンブル、矢部と共に表現の軸を創るオーボエの広田智之をはじめ管打楽器陣の卓抜が弦楽の飛翔を明るく支える。「クラリネット協奏曲」で細部の彫琢はさっておき闊達自在に遊ぶポール・メイエンの独奏（明晰さに色気の薫る音は見事だ）は楽団のスタイルと方向性を異にするにも関わらず高い集中度でフオローも健闘巻き返す。「交響曲第41番（シユピタリ）」では指揮者を置かぬ自由が響きの視界を爽やかに拓き、指揮者を置かぬ制約が表現を瑞々しさに封じ……美点と可能性の二重性もまた喜びと聴かせる好演だった。（10月30日・第一生命ホール）〈山野雄大〉

2016年12月1日発行「音楽の友12月号」
トリトン晴れた海のオーケストラ 公演評
執筆：山野雄大

家族みんなで楽しめる！

第一生命ホール『子育て支援コンサート』

お子様がいるお父さん、お母さんも「たまにはゆっくりコンサートを楽しみたい」と思うことがあるだろう。そんな願いを叶えてくれる『子育て支援コンサート』が第一生命ホールで行われている。

そのプログラムは、1部で4歳～6歳の未就学児のお子様を年齢別にクラス分けされた『子供のための音楽スタジオ』に預け、その間親御さんは「大人のためのコンサート」でゆっくりと本格的な音楽を楽しめる。その後、第2部



『子どもといっしょにクラシック 子育て支援コンサート』
3月18日(土) 14:00 第一生命ホール
TEL:トリトン・チケットデスク 03-3532-5702 (平日11:00～18:00)

右から、『認定NPO法人トリトン・ネットワーク』の藤田美寿希さん、田中裕子さん

で合流し、『音楽と絵本』でスクリーンに投影された絵本と音楽を親子そろって楽しむという内容だ。「認定NPO法人トリトン・ネットワーク」の田中さんと高田さんにお話をうかがった。

「子育て中の大人のためのコンサート」があると良いね。2011年からこのコンサートが始まりました。私も身もそうだったのですが、子供が幼稚園・保育園見くらいいだと、休みの日も朝から晩までずっと二階ですし、お出かけも子供が楽しめる場所についていけませんでした。預けてまでコンサートに行くのは「私だけ楽しんで……」って少し罪悪感があるかもしれませんが、これだったら堂々と行きますよね(笑)！」

(田中さん)

気になるのは、親御さんと離れた後のお子様の様子だが、「お母さんと離れた不安になる子もいるので、1部屋に10名程のボランティアのボランティアが入ってお子様を預かります。開演前に折り紙などで遊んだりして、楽しい音楽会」という雰囲気を作るボランティアの方たちが作り上げてくれるので、自然と最後の演奏会も楽しんでくれます(高田さん)と、今年「東京都共助社会づくりを進めるための社会貢献大賞」で特別賞を受賞したトリトン・ネットワークのポ

ランテア活動の力が活かされ、万全の体制でお子様のサポートにあたっている。「演奏会では2、3分くらいの曲をたくさん演奏。また、ポディパーカッションのよな参加出来る体験も入れつつ、30分間飽きること無く音楽を楽しんでいただけるプログラムになっています」(高田さん)

お子様が楽しんでる間、親御さんは本格的なコンサートを堪能。アンケータでは、「久しぶりに子供と離れた音楽を聴く時間を持って良かった」との声が届く。

第2部は「音楽と絵本」で親子で楽しく音楽を聞くことができる。「音楽だけでなく難しい場合も、スクリーンに映し出された絵と共に物語が進むので、より集中して楽しんでもらえるようですよ。客席からも楽本の動きに合わせ声があがったりするので、一般的なコンサートと違って寛容な雰囲気です」(高田さん)

「1部でのことを「こんなことがあったんだよ」「お母さんも楽しかったよ」と2部は一緒に聞いて「よかったね」って一緒に話す。そんなふうに音楽を通してコミュニケーションをとれるのも素敵だと思います」(田中さん)

今年の開催は3月18日(土)。松原勝也さん率いる弦楽アンサンブルが絵本『ひばのたび』と共に素敵な音楽をお届けする。

音楽が好きなお子様、絵本が好きなお父様、お父さん、お母さん……皆が楽しめる「子育て支援コンサート」。ぜひお楽しみに！

2017年3月1日発行「ショパン3月号」
バリアフリー特集
家族みんなで楽しめる！第一生命ホール
「子育て支援コンサート」

2-2. トリトン・アーツからの情報発信

広報活動

◎ ウェブやSNSでの紹介

ウェブサイトでの情報発信は能動的ではあるものの、多くの情報が掲載でき、写真、動画、他社のウェブサイトへのリンクの貼り付けなど、さまざまな可能性があり、以下のような試みを実施した。

- 公演紹介ページに、「視聴音源リンクの貼り付け」、「Facebookのリンク貼り付け」など、各公演に沿った情報発信を行った。また、「プロモーション用画像」、「過去の公演画像」など、画像を効果的に活用した。
- コミュニティ活動紹介ページに、活動終了後にレポート公開(2016年度コミュニティ活動レポート29件(2017年6月現在))
- ブログの定期発信/連載形式での情報発信
- 「Facebook」ページの開設、活用。「第一生命ホール・オープンハウス」実施に伴い、「Facebook」ページを開設し、また「Facebook」広告での告知も行った。
- 「ロビーでよちよちコンサート」にて2015年度より試験的に導入していた、インターネット上での申込フォームを利用した申込受付を実施。「ロビーでよちよちコンサート」全3回のほか、第一生命ホール・オープンハウスでの事前申込でも利用。お客さまの利便性が高まったと考えられる。

◎ トリトンアーツ通信 (年10回発行)

「音楽によるコミュニティの活性化」を目的に発行しているコミュニティペーパーで、表紙には、多くの方に関心を示して頂けるよう、ひとつの分野に特化することなく、2ページ目以降の内容が分かるようなレイアウトで情報発信をしている。

配布先として、主にトリトンスクエア内の店舗や、アウトリーチ実施先の小学校、幼稚園、保育園等で、児童・園児への配布にご協力頂いている。

*トリトンアーツ通信は、トリトンアーツのウェブサイトにて、バックナンバーも含め PDF 版で公開。

TRITON ARTS Vol. 152
NPO TRITON ARTS NETWORK
2016年7月
おかげさまで15周年

子どもといっしょにクラシック「音楽と絵本」コンサート
「スーホの白い馬」
愛され続ける名作「スーホの白い馬」を、劇団+生演奏でじっくりと
9月10日(土)14:00開演 (15:30楽団演奏)

小山栄雅氏がアルティメット四重奏とピアノ五重奏で共演
9月25日(日)14:00 室内楽の魅力 フォームと歌謡曲-音楽家たちの友楽園

今も注目される若手ヴァイオリン、ウェールズ弦楽四重奏団
10月10日(日)14:00 ユー・エス弦楽四重奏団

第一生命ホールオープンスクールの夏休み版
7月23日(土)11:30-16:30(観覧無料)

これからのオススメ公演
7月1日(日)14:00 麻呂節音響と歌く 岸野直樹
7月23日(土)11:30(15:30楽団演奏) 能と若く 音楽家さんぽ 岸野直樹 金子三樹
8月23日(日)11:00(15:30楽団演奏) 能と若く 音楽家さんぽ (15:30-16:30) 岸野直樹 金子三樹
ピアノの魔法を報告が待たす! 岸野直樹 金子三樹
8月23日(日)11:00 岸野直樹 金子三樹

第一生命ホール 767階の室内ホール、ダイナミック音響から繊細な音楽まで幅広く響きます

トリトン・アーツ・ネットワークとは
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 第一生命ビル5F
電話 03-3532-5702 FAX 03-3532-5703
ウェブサイト <http://www.triton-arts.net>

表紙

Interview 子どものいっしょにクラシック「音楽と絵本」スーホの白い馬
Interview 今も注目される若手ヴァイオリン、ウェールズ弦楽四重奏団
Interview プラームとアルティメット四重奏とピアノ五重奏で共演 小山栄雅氏と岸野直樹

Schedule
9月3日(土)14:00 小山栄雅氏がアルティメット四重奏とピアノ五重奏で共演
9月25日(日)14:00 室内楽の魅力 フォームと歌謡曲-音楽家たちの友楽園
10月10日(日)14:00 ユー・エス弦楽四重奏団
10月15日(土)11:30 岸野直樹 金子三樹
11月2日(日)11:00 岸野直樹 金子三樹

中面左ページ

中面右ページ

コミュニティ活動 News Report
第一生命ホールオープンスクール2016スケジュールが決定しました
7月13日(水)開催決定! 精進トリトンスクエアのグランドオープンコンサート

裏面

◎ ぶらあぼ (年12回発行)

毎月18日発行のクラシック音楽情報誌「ぶらあぼ」にて広告での告知を行った。8月号より、誌面のデザインをリニューアルし、さらに情報の見やすさを追求した。

第一生命ホール
9.3.14:00
ウェールズ弦楽四重奏団
10.10.14:00
須川展也
10.15.19:00
岡本誠司
11.2.11:00

「海を渡る」に歌く トリトン開かれた海のオーケストラ
10.30.14:00



子どもといっしょにクラシック～第19回ロビーでよちよちコンサート ©藤本史昭

組織運営・財政決算

3-1. 役員・職員・評価委員・特別会員・寄付者・正会員

3-2. 総会・理事会・運営会議・企画分科会

3-3. 財政決算

3

3

3-1. 役員・職員・評価委員・特別会員・寄付者・正会員

組織運営・財政決算・定款

① 役員・職員

(2017年4月始現在)

理事長	長浜力雄
理事	藤田正厚 倉林京子 岩間陽一郎 阪本要一 池田浩之 三井禎浩 江川友浩 田中玲子
監事	永山妙子 入江将司
事務局長	植田寛
事務局次長	大平和代
エグゼクティブ・プロデューサー	田中玲子
職員	櫻井あゆみ 黒澤洋子 宮崎友紀子 高田美弥子 杉野直博 廣澤純子

② 評価委員 (2016年度)

委員長	田中敬文	東京学芸大学教育学部 准教授
委員	内田秋	公益社団法人企業メセナ協議会 シニア・プログラム・オフィサー
委員	大久保広晴	公益財団法人読売日本交響楽団 事業制作部制作課主任
委員	並河恵美子	認定特定非営利活動法人芸術資源開発機構 (ARDA) 代表理事
委員	町田一雅	中央区文化・国際交流振興協会 事務局次長

(五十音順)

③ 特別会員 (法人会員) 45社

(2017年4月始現在)

<エステルハージ・サークル会員>

アサヒグループホールディングス株式会社
SMBC 日興証券株式会社
株式会社 NTT データ
鹿島建設株式会社
キヤノン株式会社
JP モルガン証券株式会社
シティグループ証券株式会社
清水建設株式会社
住友商事株式会社

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
第一生命情報システム株式会社
第一生命保険株式会社
株式会社第一ビルディング
第一フロンティア生命保険株式会社
大和証券株式会社
株式会社竹中工務店
ドイツ銀行グループ
日本物産株式会社

野村證券株式会社
BNP パリバ・グループ
みずほ証券株式会社
三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社
メリルリンチ日本証券株式会社
モルガン・スタンレー MUFG 証券株式会社
(他匿名4社)
28社 五十音順

<ラズモフスキー・サークル会員>

アフラック
株式会社大林組
株式会社関電工
興銀リース株式会社
資産管理サービス信託銀行株式会社
相互住宅株式会社

アセットマネジメント One 株式会社
第一生命カードサービス株式会社
第一リース株式会社
大成建設株式会社
大日本印刷株式会社
東洋埠頭株式会社

日本建設株式会社
野村アセットマネジメント株式会社
株式会社ビデオプロモーション
株式会社みずほ銀行
株式会社三菱東京 UFJ 銀行
17社 五十音順

④ 寄付者 191名

(2016年4月1日~2017年3月31日)

浅野友靖	上田公己	川崎真一郎	佐賀奈穂	高橋敦	内藤学	吹野浩久	森岡靖夫	渡辺克久
安部洋子	上野啓	川島健資	阪本要一	高橋千恵子	中井理恵	藤中將樹	森ヶ山和久	渡邊光一郎
荒井一浩	榎並重人	川島貴志	櫻井謙二	高橋義哉	中谷行道	藤野正昭	森田富治郎	(他匿名45名)
荒井孝継	大磯公男	木本恭子	櫻井敏行	田口城	長野二郎	細島芳	矢島良司	
荒川祐子	岡野利行	桐生清人	櫻井雅仁	竹島健二	長野洋	堀尾則光	安井喜重	五十音順
岩岐浩一	岡本佳子	久保克文	佐々木光子	武富正夫	長濱守信	松井秀文	柳原隆司	敬称略
池田眞一	奥谷直也	熊谷正百實	佐藤智	立花淳	長浜力雄	松岡公	山口隆司	
池田浩之	奥本洋三	久米信介	地主道夫	立石真	永山篤史	松本恒夫	山腰憲司	合計 191名
生駒尚樹	小野耕司	久米保則	下釜光滋	田中明夫	南部雅実	摩尼貴晴	山下真史	
石井一眞	小原一泰	黒河龍司	庄子浩	田中千秋	野口芳江	丸野孝一	山本恵子	
石田充宏	貝賀直樹	黒河内雅夫	須賀田えり子	田中互	野村英治	三木隆二郎	湯沢知之	
泉善二	鏡味徳房	小澤圭司	鈴木慎一	辻紀美子	野元克彦	瑞岩英幸	横田敏実	
磯部雄哉	榎本浩一	小柴周一	薄田克彦	辻雅夫	浜野貞夫	皆川雅則	吉田久子	
市川哲夫	加瀬豊	小山正之	関本順子	津田高志	樋口英樹	皆川雅紀	吉田昌史	
稲垣精二	勝本裕	近藤総一	菌部俊彦	手塚義博	菱田真	宮崎敦志	吉田美智子	
稲葉孝宏	加藤桂子	斎藤勝利	高崎泰典	寺本秀雄	平石淳	宮田芳文	吉田義隆	
今井房江	金澤洋	斎藤徳彦	高野茂徳	友重淳二	平本洋	宮原健祐	植田和孝	
岩田哲也	加茂文治	阪上美穂	高野由美子	伴野亮	廣瀬千春	茂木有司	和田健志	

特別会員（法人会員）・協賛企業からのメッセージ

■ 住友商事株式会社（特別会員（法人会員））

認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワークは「音楽でつながり、音楽とともに生きる社会の実現」に向け、「音楽の楽しさを分かち合い、心を豊かにする」ことをミッションに、地域コミュニティの活性化や文化活動に貢献されております。2017年1月にはその活動が認められ、第1回「東京都共助社会づくりを進めるための社会貢献大賞」特別賞を受賞されました。

住友商事グループは、2017年4月に「社会とともに持続的に成長するための6つのマテリアリティ（重要課題）」を特定し、その中で「地域と産業の発展への貢献」「快適で心躍る暮らしの基盤づくり」を掲げております。2001年の設立当初より協賛致しておりますトリトンアーツの事業活動は、この2つの理念の実現に資するものです。

今後もトリトンアーツの一層の活躍を通じ、地域の文化・芸術が益々発展することを、当社も地域の一員として心から願っております。

財務部

■ 晴海トリトンスクエア統一管理者 株式会社晴海コーポレーション（協賛企業）

トリトンアーツの理事を務めさせて頂いております晴海コーポレーションの三井でございます。理事会において活動報告をお伺いしていますが、とてもアクティブに活動されており、大変頼もしく感じております。活動の幅が広がり、規模が拡大し、質が向上しており、職員の皆様のご努力に敬意を表したいと思います。また、昨年度はトリトンアーツの長年のボランティア活動の実績が大きく評価され、東京都社会貢献大賞特別賞を受賞されました。大変名誉なことです。更なるボランティア活動の充実と共に、トリトンスクエアにおける音楽文化の発信基地として、益々ご発展されることを祈念申し上げます。

代表取締役社長 三井 禎浩

■ 第一生命保険株式会社（特別会員（法人会員）・寄付）

オリンピック・パラリンピックに向け、晴海エリアは世界の注目が集まりつつあります。トリトン・アーツ・ネットワーク、第一生命ホールは地域の皆さま方をつなぐ大切なコミュニティとなっており、その活動は高校生から70代まで幅広い年代のサポーターによって支えられています。トリトンアーツのビジョン「音楽でつながり、音楽とともに生きる社会の実現」がまさにここにあると言えます。

第一生命は、社会課題解決に向けた取り組みとして「健康の増進」「豊かな次世代社会の創造」「環境の保全」を中心テーマに掲げています。トリトンアーツの活動は、そのテーマの1つ「豊かな次世代社会の創造」に資するものです。晴海にお住まいの皆さま、ホールにご来場される皆さまが心豊かな時間が過ごせますよう当社は引き続き支援してまいります。

D S R推進室長 平山 武史

3

3-2. 総会・理事会・運営会議・企画分科会

組織運営・財政決算・定款

① 総会

■ 2016年通常総会（2016年6月23日）

【審議事項】

第1号議案 2015年度事業報告及び決算の件

第2号議案 役員選任の件

理事再任7名 長浜力雄 藤田正厚 倉林京子 岩間陽一郎
阪本要一 三井禎浩 池田浩之

理事退任1名 角田裕一

理事新任2名 江川友浩 田中玲子

監事再任2名 永山妙子 入江将司

以上が審議され賛成多数で可決された。

② 理事会

■ 第68回（2016年5月26日）

【審議事項】

2016年通常総会議決事項

第1号議案 2015年度事業報告及び決算の件

第2号議案 役員選任の件

理事再任7名 理事退任1名、理事新任2名 監事再任2名

以上が審議され全員異議なく承認された。

【報告事項】

・2015年度評価報告（第5期評価委員会田中委員長）

・2015年度業務計画結果、2016年度業務計画、

・活動状況定例報告（以降の理事会報告事項記載略）

主催・共催公演販売・入場状況、コミュニティ活動状況、
ファンドレイジング状況、貸しホール公演状況等

■ 第69回（2016年6月23日）

【審議事項】

第1号議案 理事長選任の件

理事互選の結果、長浜力雄理事が理事長に再任された。

■ 第70回（2016年9月8日）

【審議事項】

無し

【報告事項】

・予算執行状況 ・活動状況定例報告

■ 第71回（2016年12月15日）

【審議事項】

無し

【報告事項】

・予算執行状況 ・2017年度公演概要

・監査報告 ・活動状況定例報告

■ 第72回（2017年3月16日）

【審議事項】

・2017年度予算

審議のうえ全員異議なく承認された。

【報告事項】

・予算執行状況 ・2017年度総会、理事会日程

・活動状況定例報告

③ 運営会議

*参加者

第一生命 DSR 推進室課長

第一生命関連事業部課長補佐

第一生命経済研究所上席主任研究員

第一生命ホール支配人

トリトンアーツ エグゼクティブ・プロデューサー

トリトンアーツ 事務局長

【報告・検討事項】

・理事会、総会審議事項

・予算執行状況

・第一生命との連携事項

・活動状況定例報告

主催・共催公演販売・入場状況、公演振返り、

次年度公演概要、コミュニティ活動状況、

コミュニティ活動振返り、web 閲覧状況、

ファンドレイジング状況、公演顧客分析、

貸しホール公演状況等

第179回 2016年4月19日

第180回 2016年5月10日

第181回 2016年6月14日

第182回 2016年7月12日

第183回 2016年9月5日

第184回 2016年10月13日

第185回 2016年11月15日

第186回 2016年12月13日

第187回 2017年1月17日

第188回 2017年2月14日

第189回 2017年3月14日

④ 企画分科会

*参加者 トリトンアーツ スタッフ全員

第162回 2016年4月5日から

第172回 2017年3月7日まで11回開催。

・主催・共催コンサート、コミュニティ活動の企画・

実行 (Plan Do) および事業の振り返り・改善 (Check

Action) の検討。

・各種進捗、諸課題検討(広報宣伝、公演販売状況、ファ

ンドレイジング状況、サポーター活動状況等) およ

びスタッフ間の情報連携。

3

3-3. 財政決算

組織運営・財政決算・定款

平成28年度活動計算書 (平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

特定非営利活動法人
トリトン・アーツ・ネットワーク
(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受 取 会 費		
正会員受取会費	7,550,000	
特別会員（法体会員）受取会費	22,200,000	29,750,000
2 受 取 寄 付 金		
受取寄付金		50,084,000
3 受 取 助 成 金 等		
受取民間助成金	6,800,000	
受取国庫補助金	5,688,200	12,488,200
4 事 業 収 益		
チケット売上高	25,260,545	
企画料収入	4,893,552	
販売受取手数料	217,665	
トリトン通信広告掲載料	797,040	
コミュニティ活動収入	2,668,240	33,837,042
5 そ の 他 収 益		
受取利息	3,450	
雑収入	335,243	338,693
経 常 収 益 計		126,497,935
II 経常費用		
1 事 業 費		
(1) 人件費		
給料手当等	29,281,211	
通勤交通費	1,525,400	
法定福利費	4,269,992	
福利厚生費	87,499	
退職給付費用	298,127	
人 件 費 計	35,462,229	
(2) その他経費		
公演制作費	51,909,649	
地域活動制作	6,857,964	
評価システム	768,108	
サポーター	625,646	
業務委託料	1,447,200	
外注印刷費	577,388	
広告宣伝費	7,499,616	
ホームページ	229,844	
チケットシステム手数料	975,356	
通信費	665,528	
社用外出交通費	15,208	
交際費	51,662	
諸会費	67,165	
備品消耗品費	1,060,398	
支払手数料	170,388	
水道光熱費	30,503	
地代家賃	2,999,470	
賃借料	220,589	
租税公課	44,200	
その他経費計	76,215,882	
事業費計		111,678,111
2 管 理 費		
(1) 人件費		
給料手当等	6,360,000	
法定福利費	65,222	
福利厚生費	24,967	
人 件 費 計	6,450,189	
(2) その他経費		
顧問料	1,376,440	
外注印刷費	164,756	
ホームページ	65,585	
通信費	189,907	
社用外出交通費	4,340	
交際費	237,659	
会議費	12,087	
諸会費	19,165	
備品消耗品費	302,582	
支払手数料	48,620	
水道光熱費	8,704	
地代家賃	855,890	
賃借料	62,944	
租税公課	1,235,823	
減価償却費	674,580	
その他経費計	5,259,082	
管理費計		11,709,271
経 常 費 用 計		123,387,382
当期経常増減額		3,110,553
III 経常外収益		
経 常 外 収 益 計		0
IV 経常外費用		
経 常 外 費 用 計		0
当期正味財産増減額		3,110,553
前期繰越正味財産額		52,688,230
次期繰越正味財産額		55,798,783

平成28年度貸借対照表
(平成29年3月31日現在)

特定非営利活動法人
トリトン・アーツ・ネットワーク
(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	54,973,755	51,126,188	3,847,567
貯蔵品	826,143	801,166	24,977
未収入金	7,995,878	11,440,404	-3,444,526
前払費用	75,600	113,400	-37,800
流動資産合計	63,871,376	63,481,158	390,218
2 固定資産			
(1) 基本財産			
リース資産	1,485,420	0	1,485,420
基本財産合計	1,485,420	0	1,485,420
(2) その他固定資産			
ソフトウェア	766,080	0	766,080
固定資産合計	2,251,500	0	2,251,500
資産合計	66,122,876	63,481,158	2,641,718
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,750,105	1,396,991	353,114
未払消費税	540,900	752,600	-211,700
預り金	342,811	234,363	108,448
前受金	3,632,010	6,462,500	-2,830,490
流動負債合計	6,265,826	8,846,454	-2,580,628
2 固定負債			
長期未払金	2,061,632	247,966	1,813,666
退職給付引当金	1,996,635	1,698,508	298,127
固定負債合計	4,058,267	1,946,474	2,111,793
負債合計	10,324,093	10,792,928	-468,835
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	52,688,230	48,186,832	4,501,398
当期正味財産増減額	3,110,553	4,501,398	-1,390,845
正味財産合計	55,798,783	52,688,230	3,110,553
負債及び正味財産合計	66,122,876	63,481,158	2,641,718

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日、2011年11月20日一部改正NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっています。但し、取得価額30万円未満の資産については即時償却を採用しております。

(2) 引当金の計上基準

・退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき当期末に発生していると認められる金額を計上しています。なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算しています。

(3) 消費税等の会計処理

税込経理を採用しております。

2. 事業別損益の状況はP.57の通り

3. 用途等が制約された寄付金等の内訳

用途等が制約された寄付金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。

当法人の正味財産は55,798,783円で、そのうち用途が制約されている寄付金等の残高はありません。

(単位：円)

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
公演事業（15周年記念公演）協賛金	0	3,500,000	3,500,000	0
公演事業（昼の音楽さんぽシリーズ）協賛金	0	2,500,000	2,500,000	0
公演事業（子育て支援コンサート）助成金	0	300,000	300,000	0
公演事業（2016-2017SQWコンサート）助成金	0	500,000	500,000	0
公演事業（ライフサイクルコンサート）補助金	0	3,400,000	3,400,000	0
コミュニティ事業（オープンハウス・アウトリーチ・アウトリーチセミナー・中央区民カレッジ）補助金	0	1,470,000	1,470,000	0
コミュニティ事業（中央区・江東区小学校・幼稚園アウトリーチ）補助金	0	638,200	638,200	0
コミュニティ事業（中央区民カレッジ）補助金	0	180,000	180,000	0
合 計	0	12,488,200	12,488,200	0

4. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科 目	期首取得価額	取 得	減 少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有 形 固 定 資 産						
リ ー ス 資 産	0	2,105,280	0	2,105,280	619,860	1,485,420
無 形 固 定 資 産						
ソ フ ト ウ ェ ア	0	820,800	0	820,800	54,720	766,080
合 計	0	2,926,080	0	2,926,080	674,580	2,251,500

5. 担保に供している財産又は、支払を保証している債務はありません。

6. 役員及びその近親者との取引内容

取引はありません。

7. 事業費及び管理費の按分方法

共通する経費のうち下記の費用については従事割合に基づき按分しています。

・法定福利費 ・外注印刷費 ・通信費 ・諸会費 ・支払手数料 ・地代家賃
・福利厚生費 ・ホームページ ・社用外出交通費 ・備品消耗品費 ・水道光熱費 ・賃借料

事業別損益の状況

特定非営利活動法人トリトン・アーツ・ネットワーク
(単位：円)

科目	公演事業	コミュニティ事業	文化ボランティア 拠点づくり事業	評価事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益							
1 受取会費					0	29,750,000	29,750,000
2 受取寄付金					0	50,084,000	50,084,000
3 受取助成金等	10,200,000	2,288,200			12,488,200		12,488,200
4 事業収益	31,076,800	2,760,242			33,837,042		33,837,042
5 その他収益	233,200	0	98,292		331,492	7,201	338,693
経常収益計	41,510,000	5,048,442	98,292	0	46,656,734	79,841,201	126,497,935
II 経常費用							
(1) 人件費							
給料手当	25,901,310	3,379,901			29,281,211	6,360,000	35,641,211
通勤交通費	1,349,325	176,075			1,525,400		1,525,400
法定福利費	3,777,111	492,881			4,269,992	65,222	4,335,214
福利厚生費	77,399	10,100			87,499	24,967	112,466
退職給付費用	263,714	34,413			298,127		298,127
人件費合計	31,368,860	4,093,370	0	0	35,462,229	6,450,189	41,912,418
(2) その他経費							
公演制作費	51,909,649				51,909,649		51,909,649
地域活動制作費		6,857,964			6,857,964		6,857,964
評価システム				768,108	768,108		768,108
サポーター			625,646		625,646		625,646
業務委託料	1,280,151	167,049			1,447,200		1,447,200
顧問料					0	1,376,440	1,376,440
外注印刷費	510,741	66,647			577,388	164,756	742,144
広告宣伝費	6,633,943	865,673			7,499,616		7,499,616
ホームページ	203,313	26,531			229,844	65,585	295,429
チケットシステム手数料	975,356				975,356		975,356
通信費	588,707	76,821			665,528	189,907	855,435
社用外出交通費	13,453	1,755			15,208	4,340	19,548
交際費	45,699	5,963			51,662	237,659	289,321
会議費					0	12,087	12,087
諸会費	59,412	7,753			67,165	19,165	86,330
備品消耗品費	937,997	122,401			1,060,398	302,582	1,362,980
支払手数料	150,720	19,668			170,388	48,620	219,008
水道光熱費	26,982	3,521			30,503	8,704	39,207
地代家賃	2,653,244	346,226			2,999,470	855,890	3,855,360
賃借料	195,127	25,462			220,589	62,944	283,533
租税公課	39,098	5,102			44,200	1,235,823	1,280,023
減価償却費					0	674,580	674,580
その他経費計	66,223,592	8,598,536	625,646	768,108	76,215,882	5,259,082	81,474,964
経常費用計	97,592,451	12,691,906	625,646	768,108	111,678,111	11,709,271	123,387,382

平成28年度財産目録

(平成29年3月31日現在)

特定非営利活動法人
トリトン・アーツ・ネットワーク
(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金	0	
普通預金 三菱東京UFJ銀行	42,112,624	
郵便貯金口座	2,113,188	
郵便振替口座	747,943	
定期預金 三菱東京UFJ銀行	10,000,000	
貯蔵品 封筒他	826,143	
未収入金 チケット代他	7,995,878	
前払費用	75,600	
流動資産合計	63,871,376	
2 固定資産		
リース資産	1,485,420	
ソフトウェア	766,080	
固定資産合計	2,251,500	
資産合計		66,122,876
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金 事業費・管理費の未払い	1,750,105	
未払消費税 H28年確定分	540,900	
預り金 源泉所得税	342,811	
前受金 平成29年4月以降公演分他	3,632,010	
流動負債合計	6,265,826	
2 固定負債		
長期未払金 リース資産	2,061,632	
退職給与引当金	1,996,635	
固定負債合計	4,058,267	
負債合計		10,324,093
正味財産		55,798,783

認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク 2016年度事業報告書
認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク 編

認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク 2016年度評価事業報告書
認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク評価委員会 編

発行 2017年7月

認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク
〒104-6005 東京都中央区晴海1-8-10 晴海アイランドトリトンスクエアX棟5階
TEL : 03-3532-5701 FAX : 03-3532-5703
<http://www.triton-arts.net>